



愛知陸協広報

第54号

令和3年11月30日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号 ハレラニ千代田ビル301

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

オリンピック後の陸上界

副会長 外山 幸男

今年の開催になった東京オリンピック 2020 も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底により見事に開催され、世界の人々に感動を与えてくれました。

無観客での開催のため、愛知ゆかりの6名の選手の活躍には、テレビ画面越しではありますが普段以上の応援をしました。特に猛暑の札幌市で開催の20km競歩での山西利和選手の銅メダル獲得は快挙であり、心より賞賛とチーム関係者の方々にお礼を申し上げます。また、競技役員としてオリンピックに携わってくださった方々のご苦勞に感謝します。

「三重国体」が、昨年の鹿児島に続き2年連続の中止となりました。愛知県代表として、この大会を目標としていた選手の落胆は計り知れないものを感じます。東海陸上競技協会と協議し、急遽の開催ではありましたが、10月中旬に代替えとなるフレンドシップ大会を、国体会場伊勢市で東海5県の国体選手により実施しました。

瑞穂スタジアムは、2026アジア大会の会場としての改築のため競技会の開催ができなくなり、今年度から5年間は愛知陸上競技協会の主催大会は北陸上競技場ほか、各地域の競技場を転戦することになりました。新瑞穂陸上競技場の建設には、愛知陸協の要望を名古屋市にお願いし、アジア大会をはじめ国際大会が開催可能な競技場が完成することを期待しています。特にジュニアの選手には、5年後に迫ったアジア競技大会を目標に、日本代表としての活躍を大いに期待しています。

大規模マラソン大会として11回目となった2021マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知は、新型コロナウイルス感染予防対策を万全にするとともに、定員を半数にして開催しました。2022大会は約4万人の募集に戻して準備を進めています。開催には、多くの競技役員、ボランティアも必要となります。3月13日の開催ですので、ご予約くださいますようお願い申し上げます。

今年の競技会は検温、マスク、アルコール消毒、健康チェックシートの提出等、日本陸連の指針に基づいて感染対策を万全にして開催しています。トラックシーズンは滞りなく開催され、駅伝、ロードレースのシーズンに向かいます。

会員の皆様方には、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

東京オリンピックで見事銅メダルを獲得



17Km地点過ぎのペースアップ



山西利和選手

8月5日に猛暑の中、札幌大通公園で行なわれたオリンピック男子20km競歩で、終盤まで先頭争いを繰り広げた山西利和選手(愛知製鋼)が1時間21分28秒で見事銅メダルを獲得しました。誠におめでとうございます。

山西選手以外に出場した愛知ゆかりの5名の選手それぞれの頑張りも、必ず今後の愛知の陸上界に生かされるものでしょう。本当にお疲れ様でした。

専門委員会報告

総務委員会

前号で紹介できませんでした役員改選に伴う令和3年度の評議員・役員を、遅ればせながらご紹介させていただきます。

(新役員)

評議員	小椋 征弘 坂井田 醇三 柴田 和秀 仲井 雅弘 岡田 武彦	小島 末廣 植田 准次 林 一哉 鈴木 政男 安藤 好郎	杉山 裕二 小川真一郎 木村 元彦 伊藤 博之 樋高 勇二
会長	稲垣 隆司		
副会長	外山 幸男 梅村 清英		
専務理事	稲垣 裕		
常務理事	水野 隆夫(総務) 榊原 茂(競技) 北村 肇(財務)		
理事	伊藤 明久(審判) 石鏡 一則(記録・情報) 明星 光信(強化) 新見 精三(年誌・広報) 平川 貴之(施設・用器具) 小田垣充雅(強化副) 野口 由紀(財務副) 中田 有紀(学識) 谷寄 好美(女性代表) 青山 充資(尾張理事長) 水野 久(名古屋理事長) 太田 一弘(西三河理事長) 兵藤 重二(東三河理事長) 石井 哲郎(高体連) 佐橋 弘晃(中体連) 黒須 雅弘(東海学連) 下川 勝彦(マスターズ)		
監事	若松 良一 永田 敏也		

(水野 隆夫)

競技委員会

コロナ禍の中、トラック&フィールドの競技会も終わり、駅伝、ロードの競技会が始まっています。ウィメンズマラソンも以前の大規模大会に戻っての開催になる予定です。多くの審判員の参加をお願いします。

今年も昨年同様、コロナ対策をしながらの競技会になりました。少し慣れてきたとはいえ、審判のみならず、競技者、指導者、保護者の方々にも我慢の1年になりました。来年が今までどおりの競技会開催となることを切に願っています。

東京オリンピックも終わり、今後のルールに関して変更があると思いますが、3月の審判伝達講習会で確認をお願いします。

競技会についていろいろなお声をいただいておりますが、

よりよい競技会運営のために取り組んで行きたいと思えます。

競技委員会では来年度の競技会日程の調整準備に入ります。また、パロマ瑞穂スタジアムの改築工事が始まります。2026年まで不便をおかけしますが、是非ともご協力をお願いします。

(榊原 茂)

施設・用器具委員会

2021年度シーズンにあたって

これまで17年間、青木前委員長兼日本陸連検定員のもと、副委員長として協会運営のサポート、及び日本陸連区域技術役員として検定業務と一緒に担当してきましたが、今回、この大役を引く継ぐことになりました平川(県立刈谷工科高校勤務)です。競技会運営の根本を担う重要な責務でありますので、懸命に努力して参ります。よろしくお願いいたします。

1. 委員会(定例会)会議報告

当委員会では、10月22日(金)に日本特殊陶業市民会館の第2会議室をお借りして、定例会を開催しました。今回は、その会議の内容を皆様にお知らせします。

(1) 青木実前委員長兼前検定員からの挨拶

2021年4月1日付で22年間の任期を定年制によって退任することになりました。前任者の大先輩の故中西検定委員の入院急死により、故高橋会長に強くお願いされて、48歳で検定員になりました。最初の2年間は、東海地区担当(愛知、三重、岐阜、静岡)として、各県理事長さん(愛知: 國分、三重: 故村島、岐阜: 遠山、静岡: 故深澤)に、大変お世話になりました。また、日本陸連施設用器具委員会歴代委員長(鈴木、小池、平塚、高木)副委員長(宮崎、高村、福島)等の皆さんから直接ご指導を受け、お世話になりました。特に第2種安城陸上競技場初の全天候舗装検定では、小池検定員の指導で礎石入れの作業が最初で最後の経験となりました。その後から、新設競技場の礎石入れは施工業者に委託されるようになりました。2000年からは各県検定員1名の検定員制度になり、愛知では17ヶ所の陸上競技場、2ヶ所のマラソンコース、3ヶ所のハーフマラソンコース、3ヶ所の競歩路の検定を技術役員(故篠原、岡本、桑原、平川、南)さんに助けられながら実施しました。検定員としての初検定は第3種刈谷陸上競技場の新設で、故中西検定員と一緒に予定していましたが、直前に入院され、急遽滋賀県の河村検定員に指導を受けながら実施しました。半田陸上競技場新設では、本部から故飯塚検定員に仮検定と本検定と2回お世話になり、検定終了後に、故中西検定員の入院先にご案内して、検定報告とお見舞いをしました。豊川陸上競技場新設では、故大島日本陸連本部検定員の指導を受けました。東海地区担当として岐阜県の長良川陸上競技場の検定では、本部から故島津検定員の指導を受けました。

1994年より審判委員長(44才)に指名され、ジュニアユース大会や国体リハーサル大会等を通して、競技運営方法・審判運営要領作成と審判編成について日本陸連との連絡調整を担当しました。審判委員長と検定員を兼務して活動を続けてきました。2007年より施設用器具委員長とし

クラブ紹介④⑧ Brushup (ブラッシュアップ)

私達、「Brushup」は2019年6月に陸上のクラブチームとして稲沢市で活動を開始しました。小学1年生から大人の方まで40名程度のメンバーが在籍しており、毎週水曜日19:00～と週末に、トラック練習をしています。

練習会では、アップジョグやストレッチ、動きづくりのドリルまでは全員で行ない、本練習は小学生、中学生、大人の各部のコーチが目標に合わせてメニューを組み立てています。中学生は200mのインターバル、3000mや2000m×3本の走り込みなど、限られた時間の中で全力を尽くして「走る」という事に真剣に向き合う練習を行なっています。小学生は腰につけたタグを取り合ったり、ミニレーをした後に1000mのタイムを計るなど、ゲーム感覚の練習を取り入れて走る事の楽しさを学んでいます。マラソンのタイム更新を目指すメンバーの方には、練習会だけではなく本番までの練習メニューのアドバイスをさせていただきます。



練習風景

活動開始当初から山を走るトレイルランニングやロゲイニング(※)の大会に参加し、各部門で優勝や入賞など活躍の場を広げる事ができました。これからもトラック競技に限らず、あらゆるフィールドで走る事の楽しさを感じながら、それぞれが「輝ける場所」を見つけ「Brushup=磨きをかける」一人ひとりがこの気持ちを大切に、これからは心と体に磨きをかけ続けていきたいと思っています。

詳しくは下記のブログをご覧ください。

チームブログ：<https://profile.ameba.jp/ameba/b-up2019>
連絡先メールアドレス：brushup2019@yahoo.co.jp

(佐藤 直美)

※ロゲイニング (rogaining)

地図、コンパスを使って、山野に多数設置されたチェックポイントをできるだけ多く制限時間内にまわり、得られた点数を競う野外スポーツ。



石津御嶽登山競争での集合写真

て、①組織作り ②各競技場担当者との連携 ③施設用器具委員会の開催等を推進してきました。今後は、副委員長として長年支えてもらいました経験豊かな平川さんにバトンタッチをしますので、よろしくご指導お願いします。

(青木 実)

(2) 2021年度当委員会の新体制について

委員長 平川 貴之

(JAAF 検定員・AIMS 国内C級自転車計測員)

副委員長 南 康次郎

(JAAF 技術役員・AIMS 国内C級自転車計測員)

砂子間英明[瑞穂] 松井 祐二[一宮]

上田 裕貴[豊田] 中村 昭広[豊橋]

委員 青木 実[瑞穂](アドバイザー)

谷口 直土

村瀬 義彦[豊田](次期 JAAF 技術役員)

名倉喜三郎[知多] 八田 定丸[半田]

太田 貢[安城] 小笠原 俊[白谷(田原)]

澤辺 泉二[刈谷] 小野尾一乗[刈谷]

柴田 卓也[朝宮(春日井)]

小島 成稔[豊川] 大竹 昇[蒲郡]

吉越 明 浅井 正久 脇田 千鶴

秦 聖喜 田中 輝彦 世古 幸弥

桑原 義貴 (AIMS 国際B級自転車計測員)

協力者 櫻井 一美[龍北(岡崎)]

学識者 青戸 慎治[中京大] 内田 智子[至学館大]

([])は担当競技場

(3) 議事内容

- ・委員会の組織体制と今後の運営方針について
- ・日本陸連への派遣役員の追加・変更報告
- ・施設・用器具関係のルール改正等の確認
- ・今後予定している検定等の計画
- ・県内各競技場の現状と問題点について
- ・広報連載企画「競技場めぐり」の執筆計画

2. 競技場・競走路の検定状況

(1) 朝宮公園陸上競技場「スポーレ春日井」(3種新設)

7月3・4日、陸連から蒞込検定員をお迎えし、平川と南の計3名で検定を行ないました。この日は雨天の予想に



投てき可能人工芝の痕跡検査



直走路の距離計測

反して早朝から気温が高く、お手伝いしていただいた長谷川体育施設の皆さんが熱中症になりかけたり、東海道新幹線遅延の影響で、苅込検定員の到着が遅れたりするなどありましたが、無事に公認証が発行されて、8月1日より公認大会を開くことができるようになりました。

(写真提供：長谷川体育施設(株)中部支店)

(2) 安城市陸上競技場(4種L降格)・半田(運)陸上競技場(3種継続)

それぞれ保留・条件付になっていた両競技場ですが、安城が8月6日に半田は25日に平川が再検定を行ない、各所有者のご理解を受け、公認継続が認められました。

(平川 貴之)

審判委員会

東京オリンピック・パラリンピックに審判員として参加して



1. はじめに

東京2020オリンピック・パラリンピックは新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が1年延期されました。なおかつコロナの勢いが収まらない中無観客での開催が決まり、選手も運営関係者もバブル方式の感染対策をとりながらの過去に例のない異例な大会となりました。それでも、57年ぶりに開催されたこの大会に夢を思い描きながら参加することができたことを光栄に思います。そして、ここでの経験を地元を持ち帰り、少しでも多くのことを競技会運営に役立てられるよう活動してまいります。

2. NTO (National Technical Official) について

オリンピック開催が東京に決まり、日本陸連がオリパラ陸上競技レガシーとして残したいものは、競技運営を担う審判員でありました。1964年東京オリンピック同様オールジャパンとして各陸協から選出された審判員が一定の講習会、試験、実技研修を経てNTO(国内技術役員)として認定を受け、競技運営に携わりました。

	オリンピック	マラソン・競歩	パラリンピック (マラソン含む)
人数	187	100	232

上の表は当初予定からコロナ感染に配慮したり、急遽仕事などの都合により参加できなくなった方たちを除いた延べ人数です。

3. 本県より参加した審判員について

氏名	地区	オリンピック部署	パラリンピック部署
宮本 智	尾張	TIC ※1	TIC

石井 哲郎	名古屋	PEC ※2	PEC
丹羽 智行	名古屋	TIC	フロアマネージャー
黒須 雅弘	名古屋	TIC	フロアマネージャー
木村 元彦	西三河	PEC	PEC
石場 治	東三河	競技者係	競技者係
伊藤 明久	東三河	用器具係	用器具係
斉藤 喜夫	尾張	IRWJ アシスタント 飲食物供給所係(札幌)	
鴻村 一寛	名古屋	飲食物供給所係(札幌)	飲食物供給所係
尾高 純美	西三河	出発係(札幌) メダリストハンター	道路監察員



写真左から丹羽、石井、伊藤、石場、木村、宮本、黒須の各氏



写真左側尾高氏、右側鴻村氏

写真右側斉藤氏
IRWJ(※3)とのツーショット

※1…テクニカルインフォメーションセンター

※2…ポストイベントコントロール

※3…インターナショナルレースウォーキングジャッジ

4. 派遣日程および会場

オリンピック：2021年7月27日(火)～8月8日(日)
国立競技場(オリンピックスタジアム)

マラソン・競歩：8月3日(火)～8月8日(日)

札幌市大通公園発着オリンピックマラソンコース・競歩コース

パラリンピック：2021年8月24日(火)～9月5日(日)

マラソン：9月3日(金)～9月5日(日)

国立競技場・国立競技場発着マラソンコース

5. 支給物について

大会の公式ユニフォームとして、NTOには下記一覧表のものが支給されました。

カジュアルウェア

長袖シャツ	ポロシャツ	ジャージ	シューズ
1	3	2	1
ソックス	ハット	ポシェット	
2	1	1	

フォーマルウェア

ブレザー	スラックス	ベルト	ネクタイ
1	2	1	1
シャツ	ハット		
2	1		

6. 感染対策について

- (1) 大会前に東京都庁にて、オリパラ関係者へのワクチン接種（任意）
- (2) 健康チェックアプリ（OCHA）への毎日の入力（体調、体温等）
- (3) 毎日のPCR検査…唾液サンプルの提出
- (4) バブル方式の行動制限…原則的には競技会場と宿舎の往復のみ

以上4点が特筆すべきことであり、その他一般的な感染対策が講じられていました。

7. 競技役員的心得

運営マニュアルの抜粋ですが、NTOの情報共有の中で強調されたものを紹介します。

- 全世界から競技者・監督・コーチが集まり、世界一を競う競技会であり、全競技が世界中に放送される。
- 指示命令系統が国内競技会とは違う場合があるので注意が必要。WAの主催大会であるのでTD（技術代表）が最高責任者となる。オリンピックではChris Cohen氏がCompetition Directorとなり、主要なNTOにインカム等で指示を出す。
- 英語によるコミュニケーションが必要になるので日々研修してほしい。WAはNTOの英語によるコミュニケーション力の低さを問題視している。しかしながらそれを超越する競技運営能力を持っているのが全国から選抜されたNTOである。そこに自信をもていただき、英語を超えるコミュニケーション力でカバーしていただきたい。
- WAはプレゼンテーションの視点で競技場内（FOP）をステージととらえている。従って主役である競技者を引き立てるために審判員は極力少なくして競技運営することを求めている。そのため、FOPの役割は極力合理化して人員を減らす。役目のない競技役員は控室にて休憩し次に備えていただきたい。
- 国内の競技会でも同様であるが、審判員やボランティアが不用意に競技者にサインを求めたり、写真撮影を求めたりするようなことは禁止である。

8. エピソード

通常の大会ではあり得ない、オリンピックだからこそできた対応策がありました。それは男子やり投の選手からの要望で、「やり投の助走路表面の舗装がやわらかいので善処してほしい。」という主旨のものでした。TDは対応策を考え、具体的な指示が現場の技術総務に入りました。その対応策は、「数百袋に及ぶ板氷、ロックアイス敷



き詰めて上からタオルをかぶせ3時間保冷する。」ということでした。技術総務や用器具係、ボランティア総出で運搬、敷詰め作業を行ないました。日中に太陽光で上がった温度を少しでも下げようとする狙いでしたが、果たして効果があったかどうかはわかりません。



コールルームでは当然英会話等でのコミュニケーションが必要です。ここではあらかじめホワイトボードを利用して選手にメッセージが伝わるような工夫がなされていました。

9. おわりに

競技団体を代表して関連諸機関との連絡調整やオンラインによる情報交換会、また、メールによる詳細な情報を随時発信された日本陸連競技運営委員長鈴木一弘氏をはじめとする同委員会の皆様の活躍により、NTOやボランティアも力を発揮することができました。改めて敬意を表し、感謝申し上げます。

(伊藤 明久)

選手強化委員会

東海フレンドシップゲーム（三重とこわか国体代替大会）への愛知県陸上競技選手団の派遣につきまして格別のご配慮をいただき、関係者一同深く感謝申し上げます。

今大会は国体の中止が発表されてからの短い期間で、三重陸上競技協会の皆様により代替大会として、東海五県（三重・静岡・岐阜・長野・愛知）の国体選手による個人選手権の形で計画・準備を進めていただきました。各県強化関係者は、選手たちのためにという同じ思いの中、10月17日（日）に向けて調整をしてきました。諸事情により全員の参加とはいきませんでした。23種目（21名）にエントリーし、16種目（のべ20名）で優勝しました。トラック・跳躍・投擲のいずれにおいても上位の結果を残し、愛知の存在感を存分にアピールすることができました。選手一人ひとりの愛知の代表選手としての自覚と誇りが、持てる力を発揮させたものであったと感じています。

また、第76回国民体育大会の中止は、新型コロナウイルスの感染拡大から止むを得ない判断であることは理解しておりますが、大変悔しさの残るものとなりました。しかし、多くの陸上競技に関わる方々のアスリートたちにかかる熱い思いで、陸上競技の今後を守るための団結には、心から感謝を申し上げます。今後もこの感謝の気持ちをもって、自らの競技力向上に努力をしていくことと信じています。

今後も本県陸上競技の競技力向上と普及・発展を強化委

学校訪問④④

岡崎市立矢作北中学校

県中総体

女子総合の部優勝

今回は、夏の愛知県中総体女子総合の部で優勝を果たした岡崎市立矢作北中学校を、県の中学校駅伝の西三河予選(男子3位、女子優勝)が終わって間もない11月3日に訪問しました。矢作北中は、8月に行なわれた全日本中学選手権で大和令奈選手(3年100mH)が6位に入賞し、また10月に行なわれたU16日本選手権にも出場を果たしています。活躍の場を全国にまで広げている強さの秘訣を取材の中から報告します。

一つ目は、部員の数です。練習は短距離・フィールドと中・長距離の二つのグループに分かれて行なわれていましたが、中・長距離グループだけで男女合わせて40名を超えているように見受けられました。短距離グループも25名ほどだったのでしょうか。先生方にお聞きしてみると、3年生8クラス、2年生7クラス、1年生8クラスだとのことで、大規模校と言っているほどの学校だからこれだけ集まっているのだらうと思われました。「数は力だ」と言われます。多ければ多いほど切磋琢磨して力が上がっていきます。この部員数は、強さの要因の一つに違いありません。ただし補足しておきますと、中・長距離グループは10日後の県の中学校の駅伝大会を控えて3年生部員を含めた人数で、短距離グループは1、2年生のみです。また、中・長距離グループには駅伝部員としてサッカー部、野球部、バスケット部などの部を引退した3年生が含まれているとのことでした。

二つ目は、顧問の先生の数です。4人いらっしゃいました。陸上部単独で4人も先生が顧問に名を連ねていらっしゃるのめったにないことでしょうか。名を連ねてと書きましたが、それだけではありません。4人が4人も陸上競技の経験者とのことでした。スタッフの充実も、もちろん陸上部の力量を高める大きな要因となっているに違いありません。白井雄大先生と桂山李湖先生が短距離グループを、矢野貴恵先生と高橋一宏先生が中・長距離グループをと、それぞれ専門性を生かして分担されています。部員数が多くてもこれだけスタッフが充実していれば、指導はきめ細やかなものになります。練習は二つのグループに分かれて行なわれていたと先にも書きましたが、付け加えておくべきことが一つあります。それは、二つのグループに切り離されているのではないということです。白井先生のお話では、中・長距離グループの選手がスピード強化のためにしばらく短距離グループに加わったり、短距離グループの選手が心肺機能の強化のためにしばらく中・長距離グループの練習に加わるといった交流があるとのことでした。私は、この交流が陸上部の一体感を高めるのに一役買っているのではないかと思います。

2時間を少し超える活動時間でしたが、短距離グループの練習内容はほとんどが動き作り・ドリルに当てられていました。ステップング、ハードルまたぎ越し、一歩ハードル、ハードルくぐり、その場両足連続ジャンプ、ラダー、ミニハードルを利用したステップング、ミニトランポリンを利用したジャンプからの流しの他に10種目ほどがあり、基礎体力の養成に重点が置かれていると見受けました。これが三つ目です。白井先生のお話では、基礎体力作り重点を置いているのはコロナの影響を考慮してとのことでした。今の中学1、2年生の学年は小学校の高学年の時から部活動を制限され、基礎体力が高まらないまま入学してきているので基礎体力の向上をトレーニングの中心に据えているというわけです。筋の通った見識だなと感じました。中学生は心身の発達段階にあるので、様々な動き作りに取り組むのは神経系の発達にも寄与しているとも思われました。基礎体力作りの締めくくりは、3～4人一組の80mほどの馬跳びでした。



ドリル：基礎体力作り



ペースランニング

中・長距離グループの練習はウォーミングアップの動き作り・2000m走の後で、2000m - 2000m - 1000mのペースランニングでした。ペースは男女ともにAグループとBグループに差が設けられておりましたが、ここにも強さの秘訣と思われる工夫がありました。それは、Aグループに入るかBグループに入るかは顧問の先生が振り分けるのではなく、選手が自分で決めるということです。先生方が選手の自主性を大切にしているらしいその一端が見えたように私は思いました。やらされているとの思いでは、強くなれません。選手たちの主体性が練習の土台にあることを、四つ目の秘訣に挙げておきます。

もう一つ、これぞ好成績の一因と感じたことを挙げておきます。練習の合間にトイレをお借りしようと校舎内に入ったのですが、目を見張る光景に出くわしました。廊下に陸上部員の荷物バッグが等間隔に整然と並んでいたのです。桂山先生にお伺いすると、日頃から整理整頓のことを随分と指導しているとのことでした。このことの延長線でしょうか、練習後のグラウンド整備がそれはそれは丁寧に行なわれていました。トンボやブラシでならすばかりでなく、小石も丹念に拾っていました。部に浸透している規律と主体性の現れなのでしょう。



整然と並ぶバッグ

西三河地区の予選で優勝した女子の駅伝チームについて、県大会での優勝も狙っておられますかと白井先生にお伺いしたところ、「全国優勝を狙っています」ときっぱりお答えになりました。顧問の先生が高い目標を掲げておられるからこそ、選手たちの意識も高まるのでしょう。意識の高まりが、大きなパフォーマンスをもたらしているのに違いありません。一昨年、女子の部で愛知県代表の六ツ美北中学校が全国制覇を成し遂げています。主体性を軸として、矢作北中学校が六ツ美北中学校に続く快挙を成し遂げることを思い描きながら、私はグラウンドを後にしました。

員会の目標とし、強化・普及活動を進めて参ります。更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



東海フレンドシップゲーム愛知県選手団結果一覧

(明星 光信)

種別	種目	氏名	所属	記録	順位
成年男子	100m	河田 航典	立教大	10.31 (+3.3)	1
	100m	伊藤 弘大	至学館大	10.55 (+3.3)	3
	やり投	坂本 達哉	修文大 教員	69m44	1
成年女子	100m	大城 珠莉	至学館大	11.78 (+1.8)	1
	300m	吉田 紗弓	愛知高校 AC	38.90	1
成年少年女子	800m	青山 理奈	中京大中京高	2.10.97	1
	棒高跳	所 杏子	ラフィネ陸上部	3m80	1
少年男子A	100m	館野 峻輝	中京大中京高	10.42 (+2.7)	2
	300m	桂木 大和	中京大中京高	34.31	1
	300mH	小川 大輝	豊橋南高	37.69	2
	ハンマー投	小島 諒大	名古屋大谷高	62m37	1
少年男子B	100m	向井 悠汰	中京大中京高	10.88 (+2.7)	3
	砲丸投	兵藤 拓郎	名古屋大谷高	15m80	1
少年女子A	100m	倉橋 美穂	中京大中京高	11.80 (+1.9)	1
	300m	政野 志歩	中京大中京高	40.82	4
少年女子B	100m	佐藤 俐有	田原東部中	11.96 (+2.7)	1
	800m	平野 里歩	中京大中京高	2.18.40	1
	100mYH	林 美希	中京大中京高	14.00 (+1.4)	1
	砲丸投	山田 真央	安城学園高	12m81	1
成年少年女子共通	円盤投	日高 千鶴	修文女子高	34m90	4
	やり投	辻 萌々子	名古屋大谷高	52m77	1
成年少年男子共通	4×100mR	向井 悠汰	中京大中京高	41.37	4
		河田 航典	立教大		
		館野 峻輝	中京大中京高		
		伊藤 弘大	至学館大		

成年少年女子共通	4×100mR	大城 珠莉	至学館大	46.46	2
		倉橋 美穂	中京大中京高		
		佐藤 俐有	田原東部中		
		吉田 紗弓	愛知高校 AC		
男女混合	4×400mR	館野 峻輝	中京大中京高	3.33.51	1
		政野 志歩	中京大中京高		
		倉橋 美穂	中京大中京高		
		桂木 大和	中京大中京高		

記録・情報処理委員会

トラックシーズンを終えて

県小学生選手権を終え、2021年度のトラックシーズンは一段落をいたしました。U20の300mHでは中京大中京の高橋選手の日本記録など、県記録も多く樹立されました。また、記録の迅速なご報告ありがとうございました。

最近、新たな種目やカテゴリー（U16など）が増えております。場合によって後日に日本記録として申請する場合がありますので、トラックにおいて県記録以上の場合は写真判定画面の印刷・保存をお願いします。また、種目名の設定や記載・ハードルなどの規格等に誤りが散見されるようになっています。特に、中学校の150mの場合、競技場の検定状況により、145mで開催されることがあります。事例として「150m(145mで実施)」のように表記し、種目の設定は150mのままになっていた、ということがありました。誤った申請になってしまいますのでご注意ください。また、ハードルの規格につきましては、高さだけでなくインターバルの記載もお願いします。特に、競技運営において、プログラムや要項にこの記載がないと、思い込みによる錯誤のままレースが運営されることもあります。他県では、ハードルを含めて要項に規格が詳細に記入されていることが多いようです。正確な競技運営・記録申請のためにご協力をお願いします。

2021年6月26日から11月3日まで、日本陸連のデータベースで確認できた県新記録(もれがあればご連絡ください)

一般男子

1500m 3.35.42 河村 一輝 (トーエネック)
[ホクレンディスタンス千歳(北海道) 7/17]

一般女子 (外国人最高)

5000m 15.01.14 L・H・エカラレ (豊田自動織機)
[全日本実業団(大阪) 9/26]

U20男子 (高校新)

5000m 13.53.90 吉村 聡介 (豊川高)
[東海大長距離(神奈川) 10/24]
110mH 13.69 西 徹朗 (名古屋高)
[高校総体(福井) 8/1]
110mJH 13.41 西 徹朗 (名古屋高)
[第15回U18競技会(愛媛) 10/22]

U20 女子 (高校新)

100m 11.58 蔵重 みう (中京大中京高)
[名古屋地区選手権 (愛知) 10/2]

高校男子

300mH 36.30 高橋 遼将 (中京大中京高)
[国体選考 (少年の部) (愛知) 7/3]

高校女子

300m 38.98 倉橋 美穂 (中京大中京高)
[国体選考 (少年の部) (愛知) 7/4]

1000m 2.47.86 森 千莉 (豊田大谷高)
[第52回 U16 競技会 (愛媛) 10/22]

やり投 52.77 辻 萌々子 (名古屋大谷高)
[東海フレンドシップゲーム (三重) 10/17]

中学女子

棒高跳 3.21 岡部 陽奈 (逢妻中)
[西三河中学校新人 (愛知) 10/9]

棒高跳 3.20 岡部 陽奈 (逢妻中)
[県ジュニアオリンピック (愛知) 9/4]

小学男子

4年50m 7.31 二村 奏颯 (あつみクラブ)
[県小学生選手権 (愛知) 11/3]

80mH 12.78 高橋 叶真 (成岩SC陸上)
[県小学生選手権 (愛知) 11/3]

小学混合

4 × 100mR 54.37 トライル AC (愛知)
(三輪 乃愛・奥田 恭介・松山 璃々・阿野 射己)
[県小学生選手権 (愛知) 11/3]

4 × 100mR 55.20 たかはま陸上 (愛知)
(犬塚 玲莉・間瀬 咲良・久田 太一・大久保結月)
[県小学生選手権 (愛知) 11/3]

小学コンバインド

コンバインド A 1945 高橋 叶真 (成岩SC陸上)
[日清食品カップ (愛知) 6/26]

コンバインド B 2174 川合 来門 (田原陸上クラブ)
[日清食品カップ (愛知) 6/26]

コンバインド B 1829 社本 悠一郎 (AC一宮 Kids)
[日清食品カップ (愛知) 6/26]

(石鎚 一則)

けしました。主な点は ①参加種目制限 ②ウォーミングアップ場の不便さ ③トイレ不足 ④補助員無しの大会 ⑤雨天対策不足等です。2018年から名古屋市に北陸使用時の「熱中症・雷雨・雨天対策」の要望を市長宛に愛知陸協会会長名で提出していますが、現在まだ実現していません。名古屋地区や名古屋市中学校の大会が多いので、今後とも粘り強くお願いする予定です。また、2年間の反省を踏まえて2022年度の競技運営方法についても、水野 久理事長を中心に「チーム名古屋地区」となるよう、無観客対策としての映像配信を含め各方面で検討してもらっています。

2011年に、故竹内信雄元支部長にお願いされて、また当時の外山県理事長の理解を得て、県の施設用器具委員長を兼ねて名古屋支部(2012年より愛知陸協の一般財団法人化に伴い、名古屋支部から「名古屋地区陸上競技協会」と名称変更)理事長を引受けました。2011年の理事会で提案して承認された「マニフェスト」により、各委員会の努力目標を委員長さん中心に実現するようお願いすることになりました。その評価は、実現できて前進しているものと、以下のとおり今後一層努力を継続すべきものがあります。

- (1) 総務委員会関係：名古屋地区表彰(優秀審判員・優秀選手・優秀指導者)が、理事会審議を経て4月の競技大会で行なわれます。優秀選手はこの表彰を励みとし、進学後も国体や全国大会等で大変活躍しています。名古屋地区ホームページの一本化と地区広報の発行については、今後の目標として実現に向け準備をお願いしています。
- (2) 競技委員会関係：記録情報処理システム NANS で大会プログラム版下作成と競技会運営(瑞穂、知多、半田、春日井)は定着してきました。財政事情が許せば、パソコンの増加を図りたいと思います。今後の課題は、名古屋地区としての申込みファイルを統一して各顧問の負担を軽減してもらうことや、Web化により以下の流れをスムーズにすることです。①競技会申込み ②プログラム作成 ③競技会運営 ④記録の発表(QRコード) ⑤表彰状作成 ⑥記録のホームページ掲載への迅速化
- (3) 審判委員会関係：円滑な競技会運営に必要な審判編成は、競技のタイムテーブルと連動させるように努力してもらいました。部署の人数に偏りがみられ、人間関係を使って集める電話作戦で乗りきりました。今後早急に、審判資格を含め正確な地区登録審判員名簿の作成と整理を進めることが必要になります。
- (4) 記録・情報委員会：名古屋地区十傑表を作成するため、総務委員会と連携して地区登録を確認しながら進めます。
- (5) 施設・用器具委員会：アジア大会に向けて、若手の審判員の養成が進みつつあります。瑞穂の改築後、県陸協を含めて名古屋地区の競技会の中心となるように更に進めます。
- (6) 選手強化・普及委員会：ジュニア陸上教室と強化練習会(名古屋会場と半田会場)の充実を更に図り、底辺の拡大に努めます。その中から全国大会で活躍する選手が出るように進めます。また、伝統ある小学生中心の「瑞穂ふれあい陸上教室」を、名古屋市教育スポーツ協会と共催で充実させます。さらに、若い指導者の育成も急務です。

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

名古屋地区会長就任にあたって

2020年度はコロナ対策のために、厳しい条件のもとで大会を開催しましたが、中止せざるを得ない大会もあり返金作業が大変でした。2021年度は本陸が改築のため北陸開催のみとなり、更に競技者・審判員に大変ご不便をおか

- (7) 会計：名古屋地区陸協と名古屋市陸協とを分離して、会計報告が明確化して委託料の適正な会計処理ができました。備品台帳の作成に取組み、責任体制が確立されました。会計処理の迅速化に向けて各担当者は「事前の予算書作成」と「事業報告の決算書」の提出によって、会計との連絡を密にしてほしいです。また、定期的に中間監査を実施して適正な会計処理をめざしています。



瑞穂ふれあい陸上教室

(青木 実)

尾張陸上競技協会

今年度のトラックシーズンも、不安定なまま終わることとなりました。第2回尾張記録会では、2日目が雷雨のため中止する種目がありました。尾張高校新人では1日目の雷雨中断に伴い、2日目のタイムテーブルを大きく変更せざるをえませんでした。第3回尾張記録会、西尾張中学新人は緊急事態宣言の中、中止となりました。標準記録突破を狙っていた中学生には大変申し訳なく思っています。そんな中、インターハイでは日高千鶴選手（修文女子高）が円盤投で6位入賞、日本インカレでは平野優花選手（愛知黎明高→日体大）が円盤投で8位入賞と活躍してくれました。尾張選手権では、800mと1500m（大会新）で優勝した樋口 諒選手（一宮高）と200mで尾張中学新で優勝した森 那帆選手（古知野中）が優秀選手に選ばれました。ただ新記録がこれ以外に誕生しなかっただけに、今後の強化が望まれます。

全日本中学陸上競技選手権大会出場選手

男子	110mH	坂井 大一（甚目寺）
	走幅跳	宮本 恭伍（大口）
女子	200m	森 那帆（古知野）
	100mH	杉藤 葵（美和）

全国小学生陸上競技交流大会出場選手

6年女子 100m 祖父江亜希夏（AC一宮 Kids）

季節はロード・駅伝シーズンになります。例年、審判員不足に悩んでおります。何卒、ご協力のほど、宜しくお願いします。

今回も尾張陸協の競技会運営上の工夫を紹介します。今回は、51・52号で紹介した日本陸連の新型コロナ対応ガイドラインに沿った対応策を補充するものです。

51・52号で紹介したように対応策を施したつもりでしたが、漏れが生じておりました。一つは、競技終了後に速やかに競技場を離れることを選手に求めているにも関わら

ずチームメイトの応援のために競技を終えた選手が競技場に残っているという問題です。もう一つは、多項目出場の選手がトラック周りの土手に張ったテントの中でマスクを外して会話しているという問題です。

一つ目の問題については、マーシャルの人数を増やして退場のチェックをするという対応を取りました。東側の入退場口を退場専用口として、競技を終えた選手に退場口脇のマーシャル用テントで退場確認のチェックを受けさせること（写真）にしました。退場チェックが未確認の選手については、アナウンスに連絡をして呼び出しています。

二つ目のテント内でのマスク外しの問題については、競技の合間にアナウンスで注意を促したり手の空いた競技役員で見回りをして声を掛けたりしています。待機時間のマスク着用はなかなか徹底されませんが、粘り強くやっていくしかありません。またフィールド種目のラウンド間の待ち時間のマスク着用についても、跳躍種目や投てき種目の審判員に声掛けをしてもらうようお願いをしています。



(青山 充資)

西三河陸上競技協会

昨年に続き、今年も新型コロナウイルスの感染拡大は、西三河地区の小・中・高校生の部活動にも大きな影響を与えています。ただ、今年は大変厳しい状況下、東京オリンピックが無観客ながらも開催され、また、小・中学生や高校生の夢の舞台である全国大会も開催されました。部活動の大会は、選手たちにとって貴重な成果発表の場であることから、本年度は、県下の感染状況を見ながら、一律に延期・中止するのではなく、県・東海・全国大会につながる大会など十分な感染対策を講じた上で開催してきました。このように、開催する側の先生方が大会準備・運営のために、ご努力をされたことに改めて感謝申し上げます。

そんな状況下、9月19日に行なわれた「全国小学生陸上競技交流大会」（日産スタジアム：神奈川）において、男子コンバインドA（80mH、走高跳）に出場した加藤遼大選手（6年・へきなん陸上）が4位入賞、そして、8月18日から行なわれた「全日本中学校陸上選手権大会」（笠松運動公園：茨城）においては、女子1500mの林彩夢選手（3年・鶴城）の準優勝（2年連続入賞）、また男子棒高跳の谷口海斗選手（3年・猿投）の3位入賞をはじめ、西三地区出身の選手たちが素晴らしい活躍を見せてくれました。

<全国小学生陸上競技交流大会>

男子 コンバインドA

4位 加藤 遼大（6年・へきなん陸上） 2302点
（80mH：13.01 走高跳：1m43）

<全日本中学校陸上選手権大会>

共通男子 棒高跳

3位 谷口 海斗 (3年・猿 投) 4m40

共通女子 1500m

2位 林 彩夢 (3年・鶴 城) 4.27.57

共通女子 100mH

6位 大和 令奈 (3年・矢作北) 14.35

共通女子 四種競技

7位 高塚 虹百 (3年・岡崎南) 2668点

(100mH:15.44 走高跳:1m51 砲丸投:10m70
200m:27.42)

また、この大会に先立って、7月28日から開催された「全国高等学校総合体育大会陸上競技大会」(9.98 スタジアム:福井)においても、下記のように西三河地区出身の4種目6名の選手が見事入賞を果たしました。

<全国高等学校総合体育大会陸上競技大会>

共通男子 走高跳

6位 鈴木 琉太 (3年・岡崎城西) 2m03

共通女子 200m

7位 小松このみ (2年・安城学園) 24.21

共通女子 800m

2位 小山 愛結 (3年・安城学園) 2.09.09

共通女子 4×100mR

8位 安城学園 46.79

(濱島 月香・小松このみ・中根 葵・手島 美咲)

全国的にも部活動でのクラスターの発生が報告されているように、学校生活の中で慣れや油断から感染が一気に広がる可能性があります。選手たちにとって部活動は、自分を磨き大きく成長させることのできる貴重な時間です。指導者の皆さんには、選手たちの健康、そして、この成長の機会を守るためにも、今後も引き続き、感染防止に向けて今一度意識を高めていただき、部活動の指導に当たっていただきたいと思います。

これで、トラックシーズンが終わり、長距離・駅伝シーズンを迎えます。コロナ禍の中、大会運営に携わっていただいた審判員の方々をはじめ、競技会の準備・運営の中心を担っていただいた皆様に感謝申し上げます。そして今、来年度の競技会日程や競技場の確保に向けて交渉を進めています。まだまだ心配される新型コロナへの対策を十分に考慮し、日程・種目などを検討していきたいと思っています。

(太田 一弘)

東三河陸上競技協会

今年のトラックシーズンも新型コロナウイルスの感染拡

ホープさん ④

松村 琴都 選手 (愛知県立瑞陵高等学校1年)

松村琴都選手は春日井市立南城中学校を卒業して、今年度本校陸上競技部の門をたたきました。小学校5年生から中学校3年生まで、今では飛ぶ鳥を落とす勢いの「TSM」で陸上競技の基本と楽しさを身につけました。中学3年で走幅跳の中学校愛知県記録を29年ぶりに更新する5m99を跳躍し、その年の中学校全国ランキング1位を記録しました。

瑞陵高校を選択した理由として、①将来の進路希望を達成するためのカリキュラムが充実しており、伝統的に陸上競技が強い高校であること ②走幅跳の専門的指導者がいること ③将来7種競技にも取り組んでみたいので、投てき種目を学べる環境があること、などが挙げられます。

入学してしばらくは遠距離通学等で環境に適応するのに時間がかかりました。しかし真摯に練習に取り組む先輩や同級生に励まされ、6月の東海総体で3位(5m70+0.9)でインターハイの出場権を獲得したところより、俄然意欲的にトレーニングに取り組めるようになりました。U20日本選手権5位(5m77+0.3)をへて、7月の愛知県国体選手選考会少年の部で5m93(+2.0)を跳躍してからは6mを突破してインターハイで入賞する、という具体化した目標を掲げて試合に臨めたわけです。そして福井インターハイを絶好調で迎えることができました。予選は5m94(+1.3)で全体のトップで通過をしましたが、決勝では1本目5m77(+2.7)を跳んでから2本目で降失速して10位に終わりました。スタミナや集中力だけの問題ではなく、1日2試合をできる身体と心の充実等の課題が明確になったほろ苦い初インターハイでした。名古屋に帰ってきた彼女は今まで以上に熱心に練習に取り組んでいます。体づくりとして本校伝統のサーキットトレーニングや7種競技への取り組みには、目を見張るものがあります。

三重国体少女B走幅跳の選手として選んでいただきましたが、残念ながら中止となりました。お世話になる愛知県のために、U18日本陸上競技選手権大会で、インターハイの目標に掲げた6mへの再挑戦と、エブリバディ・デカスロンでの7種競技デビューが当面の目標です。また、28年間残る安田紀子選手(市邨学園)の6m19の愛知県高校記録を更新することも大きな目標であります。

(瑞陵高校陸上競技部監督:寺島 貴)



U20日本選手権でのジャンプ(6/24長居)



東海高校総体表彰式で(6/18伊勢)

大のため、無観客で補助員なしの競技会運営を余儀なくされました。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置がたびたび発出され、中止せざるをえなくなった競技会もありますが、多くの競技会を無事に実施することができました。これはひとえに競技役員の皆様が投てきのネットやハードルなどの準備・片付けなどに積極的に協力してくださったおかげです。紙面を借りて心より感謝いたします。また、毎回競技役員の出席が少ない小学生の競技会では、一部の保護者の皆さんに補助員をお願いして、無事に大会を実施することができました。補助員として参加してくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。そして、コロナ禍での活動自粛で思うような練習もできない中で、競技会に参加できることに感謝の気持ちをもって全力で競技してくれた選手の皆さんにもお礼を言いたいと思います。

練習不足で記録的にはやや低調な種目もありましたが、今年も東三河の小中高校生が多数全国大会に出場することができました。先ず高校生では、福井で7月28日～8月1日に行なわれた全国高等学校総合体育大会に、4校からリレー2チームと個人8名が出場を果たしました。そして、小川大輝選手（豊橋南）が男子400mHで6位に入賞しました。中学生では、茨城で8月17日～20日に行なわれた全日本中学校陸上競技選手権大会に、10校からリレー1チームと個人10名が出場を果たしました。そして、佐藤侑有選手（田原東部）が女子100mで3位に入賞し、田原東部が女子4×100mRでも3位に入賞しました。小学生では、神奈川で9月19日に行なわれた全国小学生交流大会に、2クラブから4名が出場を果たしました。そして、加藤光桜選手（豊橋陸上）が女子5年100mで2位に入賞しました。

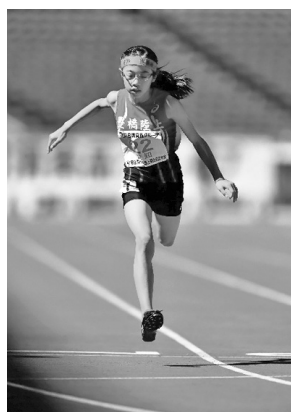
三重国体や多くの市民マラソン大会が中止になったことは残念ですが、若い選手の皆さんが、冬季トレーニングでしっかりと体づくりをして、来シーズンさらなる活躍をしていただけることを期待しています。

(兵藤 重二)

関係団体報告

小学生友の会

“日清食品カップ”第37回全国小学生陸上競技交流大会が2年ぶりに横浜・日産スタジアムにて、9月18日（土）19日（日）の2日間で開催されました。コロナ禍の開催であることから、5年・6年男女100m、コンバインド種目に絞り、参加者全員のPCR検査の実施等感染対策の徹底を図った大会となりました。1日目は大雨の中スタジアムに到着し、雨天走路での前日5年女子100m2位の加藤光桜さん練習。その後カップヌードルミュージアムに行き、見学をしてオリジナルカップラーメン作りも楽しみました。2日目、大会当日は雨も上がり、青空の下、選手とコーチが協



力し合い、全力で競技に挑むことができました。

その成果として、女子5年100mが2位、男子コンバインドAが4位、女子コンバインドAが8位に入賞しました。

競技場、ホテルは、コロナ対策のための検温、消毒、人数制限、行動規制などが徹底されていました。無事に大会が開催され、子どもたちの活躍する姿を見ることができたことに感謝しています。

次年度は、以前のようにリレー種目も含めた形での開催となることを願います。

“日清食品カップ”第37回 全国小学生陸上競技交流大会 選手団名簿と記録

日程：2021年9月19日（日） 会場：日産スタジアム

カテゴリー	氏名
監督	松井 昭宏
コーチ	八代 香津子
コーチ	谷崎 好美
コーチ	大矢 新吾
支援コーチ	生田 篤志
支援コーチ	近藤 恭正

<男子>

種目	氏名	所属	学年	結果
6年100m	星野 月音	田原陸上クラブ	6	B決勝 8位 13.13(+0.2)
5年100m	竹内 奏太	豊橋陸上クラブ	5	B決勝 1位 13.62(-0.8)
コンバインドA	加藤 遼大	へきなん陸上クラブ	6	4位 2302点 13.01(-0.6)-1m43
コンバインドB	川合 来門	田原陸上クラブ	6	24位 1989点 4m22(+0.8)-47m95

<女子>

種目	氏名	所属	学年	決勝記録
6年100m	祖父江亜希夏	AC一宮Kids	6	予選 13.95 (-1.5)
5年100m	加藤 光桜	豊橋陸上クラブ	5	2位 14.23 (-3.4)
コンバインドA	中馬 聡美	TSM	6	8位 2135点 13.45(-0.2)-1m35
コンバインドB	伊藤 里桜	大須AC	6	18位 1795点 4m27(-1.5)-37m69



集合した愛知県選手団

(写真提供：フォトクリエイト)

(八代香津子)

中小体連

○全日本中学校陸上競技選手権大会 (8 / 17 ~ 20 茨城)

今年度の愛知県からの出場者数は、男女合わせて52名となりました。競技会開催前日に急遽、選手と引率者全員のPCR検査が必要となり、現場では混乱が生じました。愛知県としては、すでに会場入りした選手をはじめ、移動中、移動前の選手と引率者に連絡を取り、無事全員がPCR検査を受けて競技会に臨むことができました。

今年の大会の成績としては、男子3000mで愛工大名電中の佐々木 哲君が第2位、女子1500mで鶴城中の林 彩夢さんが第2位、男子棒高跳で猿投中の谷口海斗君が第3位、女子100mで田原東部中の佐藤俐有さんが第3位、女子4×100mRで田原東部中(佐藤那、高津、門間、佐藤俐)が第3位、男子4×100mRで扇台中(隠岐、木下、松尾、西垣)が第5位、女子100mHで矢作北中の大和令奈さんが第6位、女子四種競技で岡崎南中の高塚虹百さんが第7位、女子砲丸投で守山中の平岩里彩さんが第8位に入賞しました。その他にも愛知県選手の活躍が目される場面が多くありました。

成果の背景には、選手の努力、日々指導されている先生方の熱意と指導力、選手のご家族の支えによる所が最も大きな要因であることはいうまでもありません。また、各地区での小中学生の強化普及活動が結果となって表れてきているのではと感じます。

中体連陸上競技部としては、これからも小学校、高校カテゴリーとの連携、つながりを大切に、より多くの選手が全国大会に出場し、活躍できる下支えをしていきたいと強く感じております。

○例年、日産スタジアムで行なわれてきたジュニアオリンピックですが、名前がJOCジュニアオリンピックカップU-16陸上競技大会となり、愛媛県総合運動公園陸上競技場で実施されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、選手や指導者全員がPCR検査や抗原検査を実施した上での開催となりましたが、特別な混乱はなく予定通り開催されました。今年度150m、1000m、三段跳、女子棒高跳などの新種目が追加されたことで、普段の陸上競技大会とは違った雰囲気を感じられました。また、例年実施されていた都道府県選抜リレー競技は中止されました。今大会の中学生の成績としては、男子棒高跳で猿投中の谷口海斗君が第3位、女子100mで田原東部中の佐藤俐有さんが第6位、女子砲丸投で守山中の平岩里彩さんが第4位、女子円盤投でTSMの岩田明樺梨さんが第7位、女子ジャベリックスローで桜田中の成田沙穂さんが第5位に入賞しました。

(佐橋 弘晃)

高体連

令和3年度前半を振り返って

昨年からの継続で、新型コロナウイルス感染症対策から始まった令和3年度も、愛知県高等学校駅伝競走大会で前半を無事に終えることができました。無観客対応の大会ばかりで、保護者の皆様からは少なからず苦情もいただきました。半面、昨年度からの引き続きでもあり、理解を示していただけた方も多くみえました。いずれにしても、多くの方々から注目をいただいていることに感謝いたします。

パロマ瑞穂スタジアムの改修工事により、愛知県高校総

体と愛知県新人大会は岡崎市の龍北スタジアムでの開催となりました。西三河陸上競技協会の皆様方には本当にお世話になりました。心から感謝申し上げます。新パロマ瑞穂スタジアムが竣工するまでは、お世話にならなくてはなりません。よろしくご配慮いただきますようお願いいたします。

全国総体は福井県開催で、東京2020と同時期の開催となりました。本年度も愛知県勢は目覚ましい活躍をしてくれました。中京大中京高校の女子総合優勝を始め、個人でも4種目で優勝者を出すことができました。男子110mHでの名古屋高校西 徹朗選手の驚異の高校新記録での優勝、男子400mHの中京大中京高校高橋遼将選手、女子800m中京大中京高校青山理奈選手、女子4×100mRの中京大中京高校と愛知県ここに有りを高らかに宣言してくれました。上位入賞者も多数輩出でき、県新人大会での入賞披露では、多くの選手に記念品を贈呈しました。また、表彰対象ではありませんが、県別対抗でも愛知県は一番でした。選手の皆さんの日ごろの努力と指導者の皆さん方のご指導の賜物と感謝申し上げます。

東海新人大会は本来岐阜県開催ですが、岐阜県の競技場使用の関係で来年度の静岡県と入れ替え、静岡県開催となり静岡スタジアムエコパ競技場で行なわれました。岐阜県と三重県は新型コロナウイルス感染症の影響で、9月中の部活動が制限された中での大会となりました。愛知県は男女とも多くの入賞者が出ました。来年度の徳島総体の前哨戦としては、際立った活躍ができたと思います。この冬をしっかりと乗り越え、来年の6月に多くのインターハイ選手が誕生することを期待します。

愛知県高等学校駅伝競走大会は、男子が豊川高校、女子は安城学園が都大路(京都)への出場権を獲得しました。両校とも安定した試合運びで、終わってみれば完勝に近いものでした。ここ数年愛知県は全国駅伝であり目立った活躍ができていませんが、今年は大いに期待がもてると思います。両校の活躍を心から期待したいと思います。

来年度に向けて、中京大中京高校の女子短距離の藏重みう選手、豊田大谷高校女子森 千莉選手を始め1、2年生に多数の有望選手がいます。来年の徳島総体でも多くの愛知県選手が活躍し、愛知の陸上を盛り上げてくれることを期待したいと思います。

新型コロナウイルス感染症の早期の終息を祈念し、多くの皆様の応援の下、大会が開催されるようになることを心から期待します。今後とも愛知県高体連陸上競技専門部をよろしくお願いいたします。

(石井 哲郎)

高体連定通部

全国高等学校定通制陸上 男女総合準優勝
～コロナ禍の中での大会～

コロナ禍で2年ぶりの開催となった全国高等学校定通制通信制陸上競技大会において、男女総合準優勝を果たすことができました。大会に参加するにあたってご支援いただいた方々に感謝申し上げます。私自身が総監督を初めて務め、各校の顧問の先生方に助けを得ながら大会を終えることができました。また、今大会はコロナ禍ということもあり辞退者も出る中で、チーム愛知として戦うことになりました。そして、選手たちも、思うように

練習ができない環境のなかではありますが、自己ベスト、種目での入賞等それぞれの目標を持って大会に参加してくれました。大会が進む中で、勝ちたいという気持ちが高まり、徐々にチーム愛知として団結し、力を見せつけてくれた選手には感動するものがあり、また、選手たちの成長の速さに驚かされました。個人では、男子200mで伴家悠也選手(市立豊橋2:22.88)、女子400mで泉知里選手(科技高刈谷2:1.03.43)、女子100mHで今泉花音選手(刈谷東1:19.41)がそれぞれの種目で優勝することができました。そして、今後の愛知県を引っ張る選手として活躍が期待されています。また、今年は複数種目で優勝を果たす、スーパーエースがいない中で、一人ひとりが地道に点数を稼ぎ、大きな成果を上げることができた大会になったと感じました。来年度以降も、今年のように、一人ひとりが大舞台でコツコツと成果を出し、大きな結果につながればと思っています。

また、10月10日(日)に県秋季大会が開催されたことについてもこの場を借りて、感謝申し上げます。全国大会から一か月半、緊急事態宣言が発出され、どの学校もほとんど練習ができないなかでありましたが、全国大会で友情を深め、今大会で切磋琢磨する選手の姿はとても感動するものがありました。これでトラックシーズンが終わりますが、来年に向けた準備は既に始まっています。選手、スタッフともにしっかりと準備を整え、来年の全国大会を迎えましょう！



秋季大会で男子総合優勝、女子総合優勝をした科技高刈谷
(野村 有輝)

跳と三段跳の2種目を制したのは、中西正美氏(日体大)以来41年ぶりであった。

10月31日(日)に開催された第39回全日本大学女子駅伝(仙台)では、大会連覇中の名城大学が史上2校目となる大会5連覇を成し遂げた。レースは、第1中継所を1位でタスキリレーすると、その後、一度も先頭を譲ることなく2位に約2分30秒差をつけてフィニッシュした。第5区では追走するチームの追い上げもあったが、全6区間中5区間で区間賞、そのうち3区間で区間記録を更新する走りであった。他の東海地区代表チームは、3年連続3回目の出場となった中京学院大学が過去最高順位の11位、3年ぶりの出場となった中京大学は25位であった。1区区間賞の山本有真選手は光ヶ丘女子高校出身である。

11月7日(日)には、第53回全日本大学駅伝の開催が予定されており、皇学館大学と岐阜協立大学の力走に期待がかかる。また、感染症対策上、昨年は出場が叶わなかった東海学連選抜チームも出場する。

2021年6月以降に誕生した好記録 (表1)

選手名	種目	記録	競技会
伊藤 陸 (近大高専S1)	走幅跳 三段跳	8m05 17m00	2021日本学生個人(平塚) 2021日本インカレ(熊谷)
小林 成美 (名城大4)	10000m	31.22.34	ホクレンディスタンス(網走) ※2022世界選手権参加標準記録突破



全日本大学女子駅伝5連覇の名城大学チーム
(黒須 雅弘)

学連

2021年シーズン下半期総括

学連主催の競技会にはパラ種目が含まれていないため、これまで触れる機会が無かったが、東京オリンピック大会終了後に開催されたパラリンピックでは、大島健吾選手(名古屋学院大4 瀬戸西)が4×100mユニバーサルリレーで銅メダルを獲得した。個人ではT64 200mでも8位入賞しており、来年予定されている世界パラ陸上競技選手権(神戸)の出場権獲得にも期待できる。

本誌53号でも触れた6月の日本学生個人選手権(平塚)にて、東海地区初の8mジャンパーとなった伊藤 陸選手(近大高専)は、9月の日本インカレ(熊谷)でも活躍した。大会初日(9/17)の走幅跳では、自身の東海学生記録を更新する8m05で優勝し、最終日(9/19)の三段跳では、日本選手3人目となる17mジャンパーとなり、従来の東海学生記録を47cm、日本学生記録を2cm更新し、大会3連覇を達成した(表1)。なお、日本インカレの走幅

実業団

トラックシーズンを終えて

今年度の話題は、何といたっても東京オリンピックになるでしょう。愛知ゆかりの選手6人が出場した中で、愛知製鋼の山西利和選手が20km競歩で見事銅メダルを獲得しました。世界選手権の金メダルに続いてのメダル獲得となりました。誠にありがとうございます。他に出場した選手も精一杯持てる力を発揮したことと思います。本当にお疲れ様でした。

他の大会では、9月に全日本実業団選手権が大阪・長居で開催されました。トヨタ自動車の湯上剛輝選手が円盤投で優勝しました。記録は58m72と60mには届きませんでしたが、現日本記録保持者の堤 雄司選手(ALSOK)に競り勝ったことは意義があると思います。日本記録奪回に向けて冬季練習に励んでいただきたいと思います。

これから駅伝・マラソンシーズンに入りますが、それぞ

れ大活躍していただきたいと思います。



世界連続メダル獲得の山西利和選手



湯上剛輝選手

(中村 博之)

マスターズ陸上

第82回愛知マスターズ記録会が7月11日に刈谷ウェーブスタジアムで開催されました。コロナ禍ではありますが、全参加者は184名(男子162名・女性22名)となりました。年齢も下は9歳から最高齢は80歳の方に参加していただき競技を楽しんでいただきました。この時期は暑さも重なり新型コロナ感染防止に加え熱中症予防にも注意が必要となりますが、特に体調不良を訴える選手も発生する事なく無事終了することができました。但し今年度最後の競技会となった第83回愛知マスターズ記録会は8月28日に予定していましたが、緊急事態宣言発出の中で中止を決定しました。そのため今年度予定した競技会も全て終了となりましたが、昨年度は1回のみ開催が今年度は2回実施できたことは喜びの一つでもあります。最近のマスコミでは新型コロナウイルスに対する投薬の話も聞かれるようになりまして、2022年度は以前の日常が戻ってくることを期待したいと思います。

以下は7月11日の記録会で日本記録と県記録を達成された方になります。

[第82回愛知マスターズ記録会新記録達成者]

【日本記録】

800m M60 2.38.06 中山 淳子(名古屋市)

【愛知県記録】

100m M25 11.08 中山 優希(みよし市)

W60 14.97 碓井由紀子(豊川市)

W60 15.27 林 啓海(尾張旭市)

(下川 勝彦)

競技会報告

第67回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会
2021年7月10日(土)・11日(日) パロマ瑞穂北陸上競技場

男子 (3位入賞のみ) (HK: 標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年100m	片桐 兜真 12.16 田原中	近藤 祐伍 12.26 前林中	杉山 惇人 12.28 東山中

2年100m	巻口 周平 11.38 田原中	向井ビニシウス 11.47 豊橋東部中	中島 悠太 11.57 守山北中
3年100m	浅井 央真 11.20 HK 萩山中	鎌戸 煌大 11.26 豊橋北部中	日高 嘉恩 11.31 西尾東部中
200m	浅井 央真 22.78 萩山中	鎌戸 煌大 22.96 豊橋北部中	高井 佑太 22.98 富貴中
400m	高井 佑太 51.24 HK 富貴中	山下 誉純 52.10 知立中	柴田 大和 52.34 矢作北中
800m	加納 駿翔 1.59.62 HK 金屋中	鈴木 大智 2.01.33 東陽中	宮下 颯汰 2.01.48 城北中
1500m	佐々木 哲 4.03.97 HK 豊川南中	尾田 悠翼 4.05.36 HK 岡崎南中	小松 映智 4.09.43 猪高中
1年1500m	下村 太一 4.40.55 西尾一色中	久田 明慧 4.42.63 福江中	高嶋航太郎 4.42.99 鳳来中
3000m	佐々木 哲 8.47.89 HK 豊川南中	藤井敬史郎 9.02.07 横須賀中	尾田 悠翼 9.03.34 岡崎南中
110mH(0.914m)	西垣 俐玖 14.70 HK 扇台中	坂井 大一 15.02 甚目寺中	杉浦 颯志 15.10 竜海中
4×100mR	扇台中 43.69 隠岐 魁人 木下 航介 松尾 晃成 西垣 俐玖	御幸山中 44.42 山田 悠世 近藤 薫 海老 樹 安保 悠介	田原中 44.50 堀部 煌 松井 天佑 菅野 実空 巻口 周平
走高跳	小澤 漣 1.76 大治中	鈴木羽玖斗 1.76 朝日丘中	鈴木 琉太 1.70 上郷中
棒高跳	谷口 海斗 4.11 HK 猿投中	水野 頌大 3.80 東浦北部中	杉田 孝介 3.80 古知野中
走幅跳	宮本 恭伍 6.60 HK 大口中	久野 聡 6.47 上郷中	与那城秀叶 6.27 豊川南部中
砲丸投(5.000kg)	今村 桂也 12.60 鎌倉台中	小森 健太 12.54 大府中	佐々木 優 11.33 鎌倉台中
四種競技	波多野 葵 2250 尾張旭西中	鈴木 透也 1974 猿投台中	藤村 汰樹 1961 岡崎北中

女子

(3位入賞のみ)

(GR: 大会新 PJH: 愛知中学新 HK: 標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年100m	大野 世奈 12.93 川名中	布施 一葉 13.01 高豊中	田中 咲有 13.07 安城西中
2年100m	三輪 琉姫 12.26 HK 品野中	坂本 茜 12.59 大府西中	佐竹 愛琉 12.66 豊川西部中
3年100m	佐藤 俐有 12.19 HK 田原東部中	眞田 あこ 12.49 HK 章南中	宮田 愛結 12.59 植田中
200m	佐藤 俐有 25.03 HK 田原東部中	眞田 あこ 25.69 HK 章南中	津川 愛依 26.21 豊橋東陵中

800m	野村 美結 2.15.66 HK 細野中	内田 詩乃 2.15.94 HK 矢作北中	江藤 柚葉 2.16.44 HK 刈谷東中
1500m	林 彩夢 4.32.91 HK 鶴城中	杉浦 華夏 4.35.32 HK 西端中	秋竹 凜音 4.40.65 矢作北中
100mH (0.762m)	大和 令奈 14.30 HK 矢作北中	寺島 慶 14.39 HK 汐路中	杉藤 葵 14.47 HK 美和中
4×100mR	田原東部中 48.86 佐藤 那有 高津 采里 門間 理莉 佐藤 俐有	古知野中 49.24 中西 麻友 森 那帆 林 夏穂 竹内 由奈	平坂中 50.68 中村 朱琳 岩田 祐香 滝沢 林子 鈴木 瑚々
走高跳	松下七海 1.54 味美中	浅野 友希 1.51 羽田中	原田 碧 1.51 羽田中
棒高跳	岡部 陽奈 3.15 GR PJH 逢妻中	草野 咲蕾 2.60 鬼崎中	中馬 朱俐 2.40 当知中
走幅跳	水野文由里 5.47 HK 志段味中	新井沙也加 5.46 滝ノ水中	赤川 恭音 5.27 猿投中
砲丸投 (2.721kg)	平岩 里彩 13.34 HK 守山中	上出 聖華 12.47 高蔵寺中	川村 茉凛 12.09 守山東中
四種競技	高塚 虹百 2738 HK 岡崎南中	寺島 慶 2691 HK 汐路中	水野文由里 2607 志段味中

走高跳	道脇 大斗 2.10 OBU エニスポ	宇野琳太郎 2.07 中京大	/
		樋口 智一 2.07 愛知教育大	
棒高跳	増田 智也 5.20 中京大	犬飼 匠 4.80 中京大	谷口 柊斗 4.80 中京大中京高
走幅跳	高野 恭平 7.64 愛知陸協	梅谷 太紀 7.37 中京大	南 晋太郎 7.36 愛知陸協
三段跳	内山 凌一 15.22 鳳来 RT	加藤 隼輝 14.71 中京大中京高	稲田 大空 14.57 東海学園大
砲丸投 (7.260kg)	戸澤 廣哉 14.41 岡崎 TFC	石井 健史 13.79 三菱重工名古屋	今 祐太 13.74 豊田自動織機
円盤投 (2.000kg)	湯上 剛輝 53.57 トヨタ自動車	久保 博規 44.92 名古屋学院C	光岡 奨平 43.91 中京大
ハンマー投 (7.260kg)	墨 訓熙 67.68 小林クリエイト	古旗 崇裕 66.42 みかん山	岩田 知大 60.09 筑波大
やり投 (800g)	堤 洸太郎 72.88 筑波大	八木 一憲 72.76 みかん山	坂本 達哉 72.63 なげるラボ
最優秀選手	高嶋 荘太 (中京大中京高)		

第81回愛知陸上競技選手権大会
2021年7月17日(土)・18日(日) パロマ瑞穂北陸上競技場

男子 (3位までの入賞分)

種目	1位	2位	3位
100m	伊藤 弘大 10.57 至学館大	河田 航典 10.60 立教大	遠藤 耕介 10.64 立命館大
200m	伊藤 弘大 21.23 至学館大	佐藤 智博 21.34 中京大	館野 峻輝 21.39 中京大中京高
400m	小清水悠介 47.37 駿河台大	富田 大智 47.61 法政大	竹内 彰基 48.23 早稲田大
800m	高嶋 荘太 1.53.07 中京大中京高	宇野 佑亮 1.53.37 中央大	山田 彪斗 1.54.32 豊田大谷高
1500m	高嶋 荘太 4.02.19 中京大中京高	マッキヤーン将人 4.02.57 中京大中京高	中島 慎哉 4.02.85 岐協大
110mH (1.067m)	西 徹朗 14.13 名古屋高	蔭山 竜介 14.42 立命館大	山本 健太 14.54 豊橋市役所
400mH (0.914m)	鈴木 大河 52.84 日本大	新垣 颯斗 53.21 東洋大	小川 大輝 53.23 豊橋南高
5000mW	小林 貫太 21.28.54 愛知教育大	山田 剛大 22.08.52 名古屋市立大	大島 涼賀 22.16.19 名古屋大

女子 (GR: 大会記録 =GR: 大会タイ記録) (3位までの入賞分)

種目	1位	2位	3位
100m	吉田 紗弓 12.10 愛知高 AC	藏重 みう 12.10 中京大中京高	倉橋 美穂 12.13 中京大中京高
200m	吉田 紗弓 24.01 GR 愛知高 AC	藏重 みう 24.25 中京大中京高	倉橋 美穂 24.35 中京大中京高
400m	政野 志歩 56.28 中京大中京高	中島 明香 57.30 中京大中京高	木下 慶乃 57.37 NSTC
800m	小山 愛結 2.07.58 GR 安城学園高	青山 理奈 2.08.21 中京大中京高	平野 里歩 2.10.18 中京大中京高
1500m	小山 愛結 4.31.54 安城学園高	丹羽 琴音 4.33.05 中部大第一高	杉浦 未蘭 4.33.24 岡崎学園高
100mH (0.838m)	大松 由季 13.83 愛教大名古屋	安藤 愛未 14.05 至学館大	西川 知沙 14.29 日体大
400mH (0.762m)	夏目 紗彩 1.00.54 豊川高	神田 彩名 1.00.87 名城大附高	辻 和佳奈 1.01.41 旭野高
5000mW	上森 佳代 23.36.16 中京大	中川 晴子 24.07.71 名古屋大	岸 七海 25.42.73 西春高
走高跳	小寺 波音 1.76 日女体大	中村 友香 1.71 名古屋大	渡邊 深友 1.65 愛知教育大
棒高跳	所 杏子 3.90 =GR ラフィネ陸上部	水上 真里 3.70 中央大	塩崎 泉 3.60 筑波大
走幅跳	澤井 萌奈 6.03 山梨学院大	明星 光 5.80 愛知陸協	柴田 菜那 5.80 名城大附高

三段跳	浅野紗弥香 12.98 GR とうがくTC	稲熊 詩帆 12.45 広島大	小寺 波音 12.41 日女体大
砲丸投 (4.000kg)	近藤 沙南 12.75 中京大	小原 惠 12.54 名古屋大谷高	辻 萌々子 12.24 名古屋大谷高
円盤投 (1.000kg)	平野 優花 44.52 日体大	近藤 沙南 42.72 中京大	小原 桃華 41.99 九州共立大
ハンマー投 (4.000kg)	平岩 志萌 52.77 筑波大	杉山 文美 50.86 岐協大	高孝 美咲 50.86 筑波大
やり投 (600g)	辻 萌々子 52.66 名古屋大谷高	石垣 綾香 51.31 中京大	堤 陽菜 46.90 名古屋大谷高
最優秀選手	吉田 紗弓 (愛知高 AC)		

低学年 4×100mR	東山中 46.43 東 和 今村 琉翔 杉山 惇人 小野 真大	古知野中 47.02 青山 翔英 西尾 健汰 宇野 圭亮 岡松 晴芽	前林中 47.47 小島 叶大 近藤 祐伍 古賀 悠透 金子 瑛士
走高跳	杓名 修吾 1.82 豊橋東部中	鈴木羽玖斗 1.76 朝日丘中	石井 颯人 1.76 犬山南部中
棒高跳	谷口 海斗 4.20 HK 猿投中	水野 頌大 3.60 東浦北部中	有馬 巨紀 3.40 平坂中
走幅跳	鈴木 惇平 6.55 HK 守山東中	宮本 恭伍 6.51 大口中	村林 航輔 6.26 武豊中
砲丸投 (5.000kg)	今村 桂也 12.80 鎌倉台中	小森 健太 12.37 大府中	中村 俊郎 11.49 平坂中
四種競技	藤村 汰樹 2058 岡崎北中	鈴木 透也 1884 猿投台中	小田 風斗 1782 河和中
男子総合	田原中 23	東山中 19	平坂中 19

第75回愛知県中学校総合体育大会
2021年7月24日(土)・25日(日)パロマ瑞穂北陸上競技場

男子 (HK: 標準記録突破 GR: 大会記録) (3位までの入賞分)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	杉山 惇人 12.09 東山中	片桐 兜真 12.26 田原中	板津心一朗 12.31 犬山南部中
2年 100m	巻口 周平 11.27 田原中	中島 悠太 11.46 守山北中	内藤 翔真 11.57 小坂井中
3年 100m	山田 凱斗 11.52 西尾東部中	秋田 悠 11.53 桜田中	松尾 晃成 11.56 扇台中
200m	浅井 央真 22.88 萩山中	鎌戸 煌大 22.98 豊橋北部中	日高 嘉恩 23.14 西尾東部中
400m	高井 佑太 50.62 HK 富貴中	柴田 大和 50.81 HK 矢作北中	山下 誉純 52.25 知立中
800m	加納 駿翔 1:58.49 HK 金屋中	宮下 颯汰 1:58.90 HK 城北中	鈴木 太智 2:00.35 HK 東陽中
1年 1500m	下村 太一 4:42.15 西尾一色中	高島 峻央 4:43.32 水無瀬中	渡邊 兼巨 4:43.57 猪高中
2年 1500m	小倉 天心 4:17.00 豊橋南陽中	坂田 剛 4:19.12 平坂中	鷺見 龍之介 4:20.10 熊野中
3年 1500m	尾田 悠翼 4:15.79 岡崎南中	尾関 柊太 4:16.12 弥富北中	小松 映智 4:17.39 猪高中
3000m	佐々木 哲 8:52.61 GR HK 愛工大名電中	藤井敬史郎 9:05.46 横須賀中	津村 優仁 9:09.03 吉良中
110mH (0.914m)	杉浦 颯志 14.66 HK 竜海中	坂井 大一 14.93 HK 甚目寺中	田中 博登 15.31 藤森中
4×100mR	扇台中 43.39 隠岐 魁人 木下 航介 松尾 晃成 西垣 侘玖	田原中 44.56 堀部 煌 松井 天佑 菅野 実空 巻口 周平	小坂井中 44.58 足立光太郎 内藤 翔真 山西 龍 菊本 成連

女子 (HK: 標準記録突破 GR: 大会記録) (3位までの入賞分)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	大野 世奈 12.73 川名中	高崎 生愛 12.84 治郎丸中	布施 一葉 12.90 高豊中
2年 100m	三輪 琉姫 12.55 品野中	佐竹 愛琉 12.82 豊川西部中	今井美莉亜 12.82 美和中
3年 100m	佐藤 俐有 12.26 HK 田原東部中	岡田 翠 12.57 田原中	宮田 愛結 12.61 植田中
200m	眞田 あこ 25.61 HK 章南中	森 那帆 25.66 HK 古知野中	津川 愛依 26.00 豊橋東陵中
1年 800m	馬場 虹羽 2:27.31 江南北部中	犬塚 美桜 2:27.36 矢作北中	江藤 杏奈 2:28.17 刈谷東中
800m	内田 詩乃 2:15.54 HK 矢作北中	村松 杏音 2:15.82 HK 豊橋南中	江藤 植葉 2:17.15 刈谷東中
1500m	林 彩夢 4:27.96 GR HK 鶴城中	杉浦 華夏 4:42.23 西端中	秋竹 凜音 4:43.04 矢作北中
100mH (0.762m)	大和 令奈 14.15 HK 矢作北中	杉藤 葵 14.48 HK 美和中	高塚 虹百 14.72 HK 岡崎南中
4×100mR	田原東部中 48.12 佐藤 那有 高津 采里 門間 理莉 佐藤 俐有	古知野中 48.84 中西 麻友 森 那帆 林 夏穂 竹内 由奈	章南中 50.67 夏目 幸奈 川合 佐和 渡邊 志帆 眞田 あこ
低学年 4×100mR	振甫中 52.04 堤 智菜美 澤 愛結 望月 結衣 重松 若奈	大高中 52.68 徳山 碧 余語 柚奈 浜田 結姫 相馬 優衣	猪高中 52.70 森田 陽乃 永坂菜々子 犬飼 心彩 原田 結依

走高跳	原田 碧 1.55 羽田中	浅野 友希 1.54 羽田中	遠藤志帆子 1.54 浄水中
走幅跳	寺島 慶 5.54 HK 汐路中	水野文由里 5.47 HK 志段味中	新井沙也加 5.46 HK 滝ノ水中
砲丸投 (2.721kg)	平岩 里彩 13.22 HK 守山中	川村 茉凛 12.77 HK 守山東中	上出 聖華 12.74 HK 高蔵寺中
四種競技	井坂 優里 2704 HK 長久手南中	水野文由里 2524 志段味中	成田 沙穂 2431 桜田中
女子総合	矢作北中 30	田原東部中 24	羽田中 15

令和3年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 2021年7月28日(水)～8月1日(日) 福井県営陸上競技場

男子 (本県8位入賞のみ) (NHR:日本高校新 GR:大会新)

種目	順位	氏名	校名	記録
200m	8	館野 峻輝	中京大中京	21.01
110mH (1.067m)	1	西 徹朗	名古屋	13.69 NHR GR
400mH	1	高橋 遼将	中京大中京	51.69
	6	小川 大輝	豊橋南	53.22
走高跳	6	鈴木 琉太	岡崎城西	2.03
ハンマー投 (6.000kg)	6	小島 諒大	名古屋大谷	59.16
やり投	2	横井 太翔	中京大中京	66.07
八種競技	6	田原 佳悟	名古屋西	5317

女子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	校名	記録
100m	3	倉橋 美穂	中京大中京	11.76
200m	3	藏重 みう	中京大中京	23.87
	6	倉橋 美穂	中京大中京	24.09
	7	小松このみ	安城学園	24.21
400m	8	政野 志歩	中京大中京	56.69
800m	1	青山 理奈	中京大中京	2.07.76
	2	小山 愛結	安城学園	2.09.09

4×100mR	1	前田 紗希 倉橋 美穂 福本 萌菜 藏重 みう	中京大中京	45.97
	8	濱島 月香 小松このみ 中根 葵 手島 美咲	安城学園	46.79
4×400mR	2	倉橋 美穂 平野 里歩 政野 志歩 青山 理奈	中京大中京	3.44.83
	6	坂井 寿々 加藤 涼音 中西 楓夏 小幡 胡実	至学館	3.47.87
円盤投 (1.000kg)	6	日高 千鶴	修文女子	41.68
やり投 (600g)	2	辻 萌々子	名古屋大谷	50.82
	7	堤 陽菜	名古屋大谷	47.78
七種競技	4	林 美希	中京大中京	4845

第48回全日本中学校陸上競技選手権大会 2021年8月18日(水)～8月20日(金) 笠松運動公園陸上競技場

男子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	校名	記録
3000m	2	佐々木 哲	愛工大名電	8.37.34
4×100mR	5	隠岐 魁人 木下 航介 松尾 晃成 西垣 俐玖	扇台	43.53
棒高跳	3	谷口 海斗	猿投	4.40

女子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	校名	記録
100m	3	佐藤 俐有	田原東部	12.34
1500m	2	林 彩夢	鶴城	4.27.57
4×100mR	3	佐藤 那有 高津 采里 門間 理莉 佐藤 俐有	田原東部	48.42
砲丸投 (2.721kg)	8	平岩 里彩	守山	13.24
100mH (0.762/8.0m)	6	大和 令奈	矢作北	14.35
四種競技	7	高塚 虹百	岡崎南	2668

愛知県ジュニアオリンピック陸上競技大会(9月4日 瑞穂北)の結果は55号に掲載します。

第69回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会
 2021年9月24日(金)~9月26日(日) ヤンマースタジアム長居

男子 (本県6位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
1500m	2	河村 一輝	トーエネック	3.40.41
	6	服部 弾馬	トーエネック	3.42.19
10000m	5	マチャリア ティラング	愛知製鋼	27.52.97
走高跳	6	赤松 諒一	アワーズ	2.10
棒高跳	3	山本 聖途	トヨタ自動車	5.30
円盤投(2.000kg)	1	湯上 剛輝	トヨタ自動車	58.72
ハンマー投(7.260kg)	3	古旗 崇裕	みかん山	67.13
	4	墨 訓熙	小林クリエイト	66.31
やり投(0.800kg)	3	石山 歩	ティラド	72.48
	4	坂本 達哉	修文大高教	71.75

女子 (本県6位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
1500m	1	ヘレン エカラレ	豊田自動織機	4.06.38
5000m	5	ヘレン エカラレ	豊田自動織機	15.01.14
400mH	4	九鬼友梨恵	加藤建設	59.15
棒高跳	5	所 杏子	ラフィネ	3.90
三段跳	6	浅野紗弥香	東郷町施設サービス	12.65

令和3年度愛知県高等学校新人体育大会陸上競技大会
 2021年9月25日(土)・26日(日)岡崎市龍北総合運動場

男子 (GR:大会記録)(3位までの入賞分)

種目	1位	2位	3位
100m	田邊 隼門 10.70 中京大中京	高橋 大地 10.80 中京大中京	香山 勇輝 10.88 中京大中京
200m	田邊 隼門 21.91 中京大中京	高倉 昂生 22.26 岡崎城西	井上 翔允 22.39 刈谷北

400m	渡邊 大暉 48.81 愛工大名電	小島 颯太 48.86 岡崎城西	久田 凌大 49.30 桜丘
800m	杉本 仁 1.54.30 中京大中京	山田 直希 1.55.82 中京大中京	樋口 諒 1.56.81 一宮
1500m	藪田虎志朗 4.02.51 豊川	野川 元希 4.03.16 愛知	橋本憲一郎 4.03.56 愛知
5000m	松井 寛翔 14.42.09 豊田大谷	高畑 蓮 14.46.09 岡崎城西	平松 享祐 14.52.43 中部大第一
110mH	横山 将也 14.82 中京大中京	青山 紘大 14.93 岡崎城西	高橋 郁実 15.05 旭野
400mH	富山 詞央 54.89 豊川	川井 秀太 55.51 西尾	下田 隼人 55.55 豊川
3000mSC	大岩 準 9.25.04 愛知	北林 陸音 9.31.00 名経大高蔵	小鹿 祐渡 9.31.91 津島東
5000mW	鳥居 拓実 25.33.77 旭野	大西 敬吾 25.41.68 知多翔洋	名塩 創 26.34.62 松蔭
4×100mR	中京大中京 40.98 GR 向井 悠汰 高橋 大地 田邊 隼門 香山 勇輝	豊川 41.61 高柳 友貴 榊原 聡真 羽田野太智 谷藤 海友	名古屋大谷 41.76 喜々津侑駕 小島 拓真 伊藤 大翔 猪上 詞穂
	中京大中京 3.16.54 竹森 斗涉 池田 駿大 阿部 泰典 杉本 仁	桜丘 3.17.62 待鳥 大陽 田中 仁識 久田 凌大 今泉 裕登	愛工大名電 3.20.79 前島 和歩 丹羽 皓星 羽田 皓栄 渡邊 大暉
走高跳	岡松 大那 1.90 愛工大名電	高橋 晃永 1.85 尾北	
		高橋 郁実 1.85 旭野	
		清水 翔 1.85 瑞陵	
		加古 彩人 1.85 中京大中京	
棒高跳	安部桂史郎 4.40 岡崎北	林本 匠平 4.20 中京大中京	前川 祐也 4.20 豊川
走幅跳	生田 幸長 7.01 安城学園	神谷 将希 7.01 西尾	立野 秀 7.00 西尾
三段跳	田中 瑛一 14.14 豊橋南	山坂 隼也 13.97 愛工大名電	羽田 桂吾 13.84 岡崎城西
砲丸投	兵藤 拓郎 13.37 名古屋大谷	尾崎 涼 12.88 三好	河本 雅崇 12.50 名古屋大谷
円盤投	神戸 良介 38.30 三好	兵藤 拓郎 37.33 名古屋大谷	佐藤 喜嗣 36.97 桜丘
ハンマー投	神戸 良介 56.54 三好	大畑 皓誠 46.46 一宮起工科	阿部 慧吾 44.54 安城学園

やり投	眞名子智仁 52.27 昭和	上野 倅一 49.79 星城	中野 陽登 46.67 豊橋南
総合	中京大中京 74.5	豊川 34	岡崎城西 28
トラック	中京大中京 63	豊川 30	岡崎城西 23
フィールド	三好 20	名古屋大谷 18	愛工大名電 13

砲丸投	小原 恵 11.42 名古屋大谷	山田 真央 11.35 安城学園	伊藤 圭菜 11.28 至学館
円盤投	伊藤 圭菜 39.54 至学館	別所りなみ 36.31 三好	堤 陽菜 30.09 名古屋大谷
ハンマー投	小原 恵 44.68 名古屋大谷	長尾 環 41.31 三好	川本菜々香 40.90 三好
やり投	堤 陽菜 45.82 名古屋大谷	横山 花音 40.42 三好	中田 瑠乃 38.67 中京大中京
総合	中京大中京 83	安城学園 55	岡崎城西 36
トラック	中京大中京 68	安城学園 29	岡崎城西 24
フィールド	名古屋大谷 26	安城学園 26	三好 24

女子 (GR:大会記録) (3位までの入賞分)

種目	1位	2位	3位
100m	藏重 みう 11.78 GR 中京大中京	小松このみ 11.87 GR 安城学園	前田 紗希 12.18 中京大中京
200m	藏重 みう 24.64 中京大中京	小松このみ 24.67 安城学園	森山 夢菜 25.12 時習館
400m	森 千莉 55.95 豊田大谷	平野 里歩 56.20 中京大中京	森山 夢菜 56.54 時習館
800m	森 千莉 2.11.88 豊田大谷	平野 里歩 2.13.09 中京大中京	相場 茉奈 2.13.72 豊橋南
1500m	林 愛望 4.36.49 岡崎城西	高吉ももこ 4.37.64 岡崎城西	甲斐 琴乃 4.37.95 岡崎城西
3000m	中馬 蘭奈 9.43.52 豊田大谷	林 愛望 9.55.37 岡崎城西	山口 紋奈 9.57.28 光ヶ丘女子
100mH	高木 茜里 13.89 中京大中京	榊原 詠美 14.15 安城学園	片山 心菜 14.30 中京大中京
400mH	和佐田真広 1.02.83 中京大中京	森田 琉水 1.03.40 光ヶ丘女子	都 百花 1.03.83 旭丘
5000mW	足立 真唯 26.33.15 明和	後藤 美咲 27.44.60 豊明	近藤 綾音 28.09.42 豊明
4×100mR	中京大中京 47.10 片山 心菜 林 美希 前田 紗希 藏重 みう	至学館 47.95 北崎 七海 加藤 涼音 鈴木 咲葉 鈴木 虹葉	安城学園 47.98 濱島 月香 小松このみ 榊原 詠美 青山 和奏
4×400mR	中京大中京 3.48.50 GR 藏重 みう 中野 知咲 片山 心菜 平野 里歩	時習館 3.56.51 熊谷 実華 森山 夢菜 小酒井結菜 小原すずか	愛工大名電 3.57.74 森 美波 鈴木 美咲 竹田 真子 大谷 遥香
走高跳	村松 優 1.64 安城学園	矢野 夏希 1.61 時習館	太田 結愛 1.61 中京大中京
棒高跳	横井 綾 3.00 岡崎城西	小林 悠香 2.70 豊川	村田 実由 2.60 中京大中京
走幅跳	松村 琴都 5.74 瑞陵	田島七里香 5.63 至学館	石川 凜 5.56 安城学園
三段跳	石川 凜 11.20 安城学園	渡辺実優花 11.04 名城大附	鈴木 菜美 10.99 岡崎北

第22回中部実業団陸上競技選手権大会
2021年10月8日(金)・10月9日(土) 多治見市運動公園星ヶ台競技場

男子 (GR:大会新記録) (本県3位入賞分のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
400m	3	野村 勇輝	小島プレス	49.23
800m	3	木屋川内浩二	トヨタ自動車	1.55.54
1500m	2	佐藤 佑	I.A.R.C	4.01.52
	3	川嶋 拓弥	I.A.R.C	4.02.75
5000m	2	仲見 史哉	志楽園福祉会	14.56.61
	3	上田 泰輔	三菱自動車岡崎	14.57.31
10000m	1	エバンス ケイタニー	トヨタ紡織	28.13.74
	2	西山 雄介	トヨタ自動車	28.14.59
	3	マチャリア ディラング	愛知製鋼	28.17.55
4×100mR	2	徳村 洋輝 高野 克哉 新城 健斗 渡邊圭一郎	トヨタ自動車	40.93
	3	天野 知哉 木村 颯 中山 聖 跡見 俊明	愛教大クラブ名古屋	40.96
棒高跳	3	山本 聖途	トヨタ自動車	5.30 GR
円盤投 (2.000kg)	2	湯上 剛輝	トヨタ自動車	57.04
ハンマー投 (7.260kg)	2	古旗 崇裕	みかん山	67.79 GR
	3	墨 訓熙	小林クリエイト	66.06

やり投 (800g)	1	石山 歩	ティラド	70.88
	3	八木 一憲	みかん山	68.28

女子 (GR:大会新記録)(本県3位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	3	吉田 紗弓	愛知高校教	11.98
200m	2	吉田 紗弓	愛知高校教	24.71
100mH (0.838m)	2	大松 由季	エリアワン	13.53 GR
400mH (0.762m)	3	九鬼友梨恵	加藤建設	1.00.09
棒高跳	4	所 杏子	ラフィネ	3.80
砲丸投 (4.000kg)	1	徳岡 沙織	一宮北高教	12.32
やり投 (600g)	3	西山 育未	XEBIO T&F	42.12

2021年駅伝強化長距離競技会
2021年10月9日(土)パロマ瑞穂北陸上競技場

(1位入賞のみ)

種目	氏名	校名	記録	
男子	中学3000m	尾田 悠翼	岡崎南中	8.56.08
	5000m	平松 享祐	中部大第一高	14.49.72
	10000m	小川 海里	名大	31.52.81
女子	3000m	森 千莉	豊田大谷高	9.54.79
	5000m	中馬 蘭奈	豊田大谷高	16.44.90

2021年投てき競技会
2021年10月9日(土)パロマ瑞穂北陸上競技場

(1位入賞のみ)

種目	氏名	校名	記録	
中学1年男子	砲丸投 (4.000kg)	佐藤 美波	大口	12.08
高校男子	砲丸投 (6.000kg)	兵藤 拓郎	名古屋大谷	14.05
	円盤投 (1.750kg)	庭野 夏海	誠信	38.38
	ハンマー投 (6.000kg)	小島 諒大	名古屋大谷	63.72
	やり投(800g)	眞名子智仁	昭和	51.99

中学1年女子	砲丸投 (2.721kg)	青松 苺華	大須 AC	7.29
高校女子	砲丸投 (4.000kg)	山田 真央	安城学園	11.97
	円盤投 (1.000kg)	伊藤 圭菜	至学館	38.65
	ハンマー投 (4.000kg)	小原 恵	名古屋大谷	43.65
	やり投 (600g)	堤 陽菜	名古屋大谷	44.54

第15回U18陸上競技大会

2021年10月22日(金)~10月24日(日)愛媛県総合運動公園陸上競技場

男子 (GR:大会記録)(本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	校名	記録
100m	5	田邊 隼門	中京大中京	10.66
	8	小島 拓真	名古屋大谷	10.78
800m	3	杉本 仁	中京大中京	1.52.33
3000m	2	マッキーオン 将人	中京大中京	8.14.04 GR
110mH (0.991m/9.14m)	1	西 徹朗	名古屋	13.48 GR
走幅跳	7	田中 瑛一	豊橋南	7.10
ハンマー投 (6.000kg)	2	神戸 良介	三好	57.22

女子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	校名	記録
100m	1	藏重 みう	中京大中京	11.75
	4	倉橋 美穂	中京大中京	11.94
	5	小松このみ	安城学園	11.94
800m	7	平野 里歩	中京大中京	2.11.73
300mH (0.762m/35.00m)	7	夏目 紗彩	豊川	45.18
走高跳	5	鈴木 菜美	岡崎北	1.65
走幅跳	3	松村 琴都	瑞陵	5.74
円盤投 (1.000kg)	4	伊藤 圭菜	至学館	39.49

ハンマー投 (4.000kg)	8	小原 恵	名古屋大谷	45.68
やり投 (600g)	4	堤 陽菜	名古屋大谷	46.03

3000m	伊藤 悠真 9.22.92 SET PROJECT	伊藤 颯汰 9.25.40 矢作北	柴田 貫慈 9.33.38 S.T
110mH (0.914m)	藤田 唯央 15.66 福岡	小川 倅周 16.24 青陵	山口 竜世 16.63 西尾一色
4×100mR	東山 45.33 東 和 小野 真大 服部 仁弥 杉山 惇人	田原 45.37 松井 天佑 片桐 兜真 原田 悠暉 巻口 周平	前林 46.35 小島 叶大 近藤 祐伍 杉浦 圭 金子 瑛士
走高跳	伊藤 望亜 1.70 宮田	向井 ビニシウス 1.70 豊橋東部	岡松 晴芽 1.65 古知野
棒高跳	久世 優塾 3.20 円上	沼野 靖生 3.00 古知野	加藤 櫻大 2.60 知多
走幅跳	森川 陽介 6.25 GR TSM 岡崎	辻本 智希 5.81 福岡	長谷部 寛 5.70 大府北
砲丸投 (5.000kg)	佐藤 美波 10.42 大口	小橋 琉生 10.24 御幸山	岩坂レオン 10.20 牧の池
円盤投 (1.500kg)	佐藤 蒼太 23.77 藤森	折付 歩夢 23.42 萩山	白久 本気 23.04 猿投台

第52回 U16 陸上競技大会
2021年10月22日(金)~10月24日(日) 愛媛県総合運動公園陸上競技場

男子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	校名	記録
棒高跳	3	谷口 海斗	猿投中	4.20

女子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	校名	記録
100m	6	佐藤 俐有	田原東部中	12.18
1000m	1	森 千莉	豊田大谷高	2.47.86
女子砲丸投 (2.721kg)	4	平岩 里彩	守山中	13.91
円盤投 (1.000kg)	7	岩田明樺梨	TSM	31.02
ジャベリック スロー	5	成田 沙穂	桜田中	44.82

女子 (GR:大会記録) (3位までの入賞分)

種目	1位	2位	3位
1年100m	高崎 生愛 12.90 稲沢 ACJ	荻野 澄純 13.04 トライル AC	布施 一葉 13.04 高豊
2年100m	三輪 琉姫 12.36 トライル AC	今井美莉亜 12.66 AC-宮Junior	坂本 茜 12.66 大府西
3年100m	佐藤 俐有 12.30 GR 田原東部	津川 愛依 12.62 豊橋東陵	森 那帆 12.67 古知野
200m	佐野 日香 26.48 GR 安城西	古市さくら 26.80 大府西	石川 柚果 27.54 青陵
800m	富澤 茉那 2.15.46 GR 甲山	村松 杏音 2.18.60 豊橋南部	大畑夢依里 2.21.54 朝日
1500m	杉浦 華夏 4.40.09 西端	宇野莉里杏 4.50.14 篠目	高橋 沙綾 4.53.29 刈谷南
100mH (0.762m)	井坂 優里 14.98 TSM	平塚 玲音 15.00 岡崎東海	岡本 彩里 15.50 旭
4×100mR	トライル AC 50.65 中山小春空 三輪 琉姫 堀 亜衣菜 荻野 澄純	安城西 51.18 田中 咲有 山本 遥 佐野 日香 水谷 悠那	古知野 51.34 滝 双葉 小椋 千智 藤村 優有 中西 麻友
走高跳	春日 乃亜 1.50 東港	今浦 彩葉 1.50 日進西	鍵谷 優羽 1.50 桜田
棒高跳	恩田 朱果 2.30 守山西	瀬宜田美奈 2.30 平坂	仙田 雪乃 2.20 前津

第3回愛知県中学生新人陸上競技大会
2021年10月30日(土) パロマ瑞穂北陸上競技場

男子 (GR:大会記録 =GR:大会タイ記録) (3位までの入賞分)

種目	1位	2位	3位
1年100m	片桐 兜真 12.01 田原	近藤 祐伍 12.05 前林	横山 蓮音 12.10 高橋
2年100m	北野 佳貴 11.34 GR 長久手	巻口 周平 11.39 GR 田原	小野 真大 11.40 =GR 東山
3年100m	鎌戸 煌大 11.10 豊橋北部	西垣 俐玖 11.25 扇台	足立光太郎 11.35 小坂井
200m	内藤 翔真 22.87 GR 小坂井	岡本紘太郎 23.63 明祥	水元 空 24.02 二川
400m	天願 凌太 53.73 尻張ランスター	林 天心 54.14 田原東部	清水幸太郎 54.46 鶴城
800m	鈴木 太智 2.02.58 GR 東陽	菅野絢之介 2.03.62 大府北	嶋 大雅 2.06.87 高豊
1500m	坂田 剛 4.12.04 GR 平坂	横畑 僚大 4.12.07 GR 青陵	鷺見龍之介 4.16.79 熊野

走幅跳	糟谷 朋葉 5.12 福江	加藤 蒼乃 4.98 富貴	赤川 恭音 4.96 猿投
砲丸投 (2.721kg)	猶崎 由梨 10.14 守山東	稲垣 妃蘭 10.01 藤森	青柳 梓紗 9.56 大高
円盤投 (1.000kg)	伏木 杏莉 28.89 GR 東山	船水 琴未 24.76 長久手北	紀國 佑香 21.50 TSM

走高跳	3	岡松 大那	愛工大名電	1.93
棒高跳	3	前川 祐也	豊川	4.30
走幅跳	2	立野 秀	西尾	7.04
	3	神谷 将希	西尾	6.95
砲丸投 (6.000kg)	3	兵藤 拓郎	名古屋大谷	13.87
ハンマー投 (6.000kg)	1	神戸 良介	三好	58.22
	2	大畑 皓誠	一宮起工科	50.39

東海高等学校新人陸上競技選手権大会
2021年10月30日(土)・10月31日(日) 小笠山総合運動公園

男子 (GR:大会記録)(本県3位入賞のみ)

種目	順位	氏名	校名	記録
100m	1	田邊 隼門	中京大中京	10.61
	2	小島 拓真	名古屋大谷	10.77
200m	3	井上 翔允	刈谷北	22.23
400m	3	小島 颯太	岡崎城西	48.39
800m	1	杉本 仁	中京大中京	1.52.65 GR
	2	山田 直希	中京大中京	1.54.18
	3	樋口 諒	一宮	1.55.39
1500m	2	野川 元希	愛知	3.57.78
5000m	2	高畑 蓮	岡崎城西	14.42.62
110mH (1.067m)	3	横山 将也	中京大中京	14.86
400mH (0.914m)	1	下田 隼人	豊川	53.57
	2	駒井 菖瑛	中京大中京	54.41
5000mW	3	大西 敬吾	知多翔洋	23.44.90
4×100mR	1	高柳 友貴 下田 隼人 羽田野太智 谷藤 海友	豊川	40.98
	2	向井 悠汰 香山 勇輝 田邊 隼門 亀山 祥吾	中京大中京	41.32
4×400mR	1	竹森 斗涉 阿部 泰典 永田 敦也 杉本 仁	中京大中京	3.15.42
	3	榑原 聡真 富山 詞央 羽田野太智 橋本 結友	豊川	3.17.75

女子 (GR:大会記録)(本県3位入賞のみ)

種目	順位	氏名	校名	記録
100m	1	藏重 みう	中京大中京	11.81 GR
	2	小松このみ	安城学園	12.01
200m	1	小松このみ	安城学園	24.58
	2	森山 夢菜	時習館	24.91
400m	1	平野 里歩	中京大中京	55.44
	2	森山 夢菜	時習館	56.12
800m	1	森 千莉	豊田大谷	2.10.43 GR
	2	相場 茉奈	豊橋南	2.11.96
	3	北村 はる	福祉大付	2.13.47
1500m	3	高吉ももこ	岡崎城西	4.33.87
3000m	3	山口 紋奈	光ヶ丘女子	9.54.93
100mH (0.838m)	1	林 美希	中京大中京	13.88
	2	高木 茜里	中京大中京	13.95
	3	榑原 詠美	安城学園	14.15
400mH (0.762m)	1	森田 琉水	光ヶ丘女子	1.02.05
	3	羽賀 柚月	岡崎城西	1.02.42
5000mW	1	足立 真唯	明和	25.19.42
4×100mR	1	片山 心菜 林 美希 前田 紗希 藏重 みう	中京大中京	46.76 GR
	3	濱島 月香 小松このみ 榑原 詠美 青山 和奏	安城学園	47.46

4×400mR	1	片山 心菜 中野 知咲 和佐田真広 平野 里歩	中京大中京	3.48.90 GR
	2	熊谷 実華 小酒井結菜 小原すずか 森山 夢菜	時習館	3.53.46
走高跳	2	鈴木 菜美	岡崎北	1.64
	3	村松 優	安城学園	1.64
走幅跳	2	松村 琴都	瑞陵	5.96
三段跳	3	石川 凜	安城学園	11.53
砲丸投 (4.000kg)	2	山田 真央	安城学園	12.50
円盤投 (1.000kg)	1	伊藤 圭菜	至学館	38.93
	3	別所りなみ	三好	35.04
ハンマー投 (4.000kg)	1	小原 恵	名古屋大谷	44.41
	2	川本菜々香	三好	41.50
	3	塩原 愛生	三好	40.50
やり投 (600g)	3	永井愛香里	岡崎城西	42.86

4年 走高跳	三井 絳稀 1.16 JAC武豊	羽澤 星牙 1.13 刈谷 AC	森 弥大 1.13 大須 AC
			野呂 海斗 1.13 大須 AC
5年 走高跳	田井中大和 1.25 TSM岡崎小学	澁谷 光暁 1.20 OBU エニスポ	松井 奏 1.30 TSM
		大澤 拓己 1.20 SETPROJECT	
6年 走高跳	小木曾蒼真 1.44 TSM	下田 智生 1.30 へきなん陸上	丸山 太陽 3.68 へきなん陸上
4年 走幅跳	平岡 昇真 3.76 Spirits	吉井 一平 3.71 東浦 AC	熊澤 宗記 4.24 大須 AC
5年 走幅跳	関根 吾咲 4.50 TSM岡崎小学	加藤凜太郎 4.36 大須 AC	平山翔一郎 4.68 AC一宮 Kids
6年 走幅跳	加藤 遼大 4.89 へきなん陸上	河村 悠吾 4.70 とびしま陸上クラブ	鈴木 悠真 34.48 トライル AC
4年 ジャベリックボール投	長谷川 舜 37.85 大須 AC	田原 秀一 36.11 TSM岡崎小学	小山 拓久 39.36 大須 AC
5年 ジャベリックボール投	岩淵聡一郎 44.95 AC一宮 Kids	服部 優杜 44.47 大須 AC	川松 蒼羽 43.49 稲沢 AC
6年 ジャベリックボール投	谷口 澁弥 54.66 トライル AC	河合 健琉 48.55 田原陸上	

第35回愛知県小学生陸上競技選手権大会
2021年11月3日(水) パロマ瑞穂北陸上競技場

男子 (ER: 県小学生記録 GR: 大会記録) (3位までの入賞分)

種目	1位	2位	3位
4年 50m	二村 奏颯 7.31 ER GR あつみクラブ	鈴木 楓渉 7.60 SFJ	坂川 舜 7.68 AC一宮 Kids
5年 100m	竹内 奏太 13.48 豊橋陸上	蒲田 煌成 13.66 TSM岡崎小学	中島 貫汰 13.77 豊川 AC
6年 100m	北村 聡祐 12.18 稲沢 AC	神谷 一希 12.79 刈谷 AC	問川 蓮斗 12.89 TSM岡崎小学
4年80mH (0.6m)	東 耀大 13.70 大須 AC	菱田 貴助 14.51 TSM岡崎小学	鈴木彰之輔 14.81 TSM岡崎小学
5年80mH (0.7m)	高橋 叶真 12.78 ER GR 成岩 SC 陸上	矢田 獅温 13.91 TSM岡崎小学	セントンゴ 郁斗 14.28 TSM
6年80mH (0.7m)	杉浦 崇義 12.18 TSM岡崎小学	浮田 兆 12.25 TSM	石川 湊真 12.47 JAC武豊

女子 (=GR: 大会タイ記録) (3位までの入賞分)

種目	1位	2位	3位
4年 50m	田村 優芽 7.74 なごや陸上	小池愛里子 7.80 へきなん陸上	齋藤 唯花 8.00 豊丘 AC
5年 100m	加藤 光桜 13.41 豊橋陸上	武井 陽南 13.58 なごや陸上	宮道菜々美 14.12 豊川 AC
6年 100m	西銘 風桜 13.19 TSM	八代 理衣 13.58 上郷 JAC	長谷川蒔乃 13.64 大須 AC
4年80mH (0.6m)	山崎 璃海 14.00 TSM岡崎小学	川瀬 彩葉 14.23 TSM岡崎小学	石澤 きら 14.76 TSM岡崎小学
5年80mH (0.7m)	北村 陽奈 13.51 大須 AC	岡 菜月 13.57 TSM	横井 心菜 13.81 TSM岡崎小学
6年80mH (0.7m)	酒井 波 12.53 成岩 SC 陸上	荻葉 沙菜 12.74 大須 AC	柴田 彩羽 13.10 TSM
4年 走高跳	榊原 りほ 1.20 =GR TFC半田	中島 優那 1.10 豊橋陸上	藤目ねいろ 1.10 田原陸上
5年 走高跳	浜本 恵瑠 1.25 TSM	榊原 芽生 1.25 JAC武豊	岡崎 真子 1.25 TSM岡崎小学

6年 走高跳	破田野早映 1.35 AC一宮Kids	井上 真悠 1.30 刈谷 AC	橋本菜成美 1.25 田原陸上
4年 走幅跳	近藤 彩 3.62 TSM岡崎小学	瀬野 真央 3.47 team RIZE	森田 あお 3.44 TSM岡崎小学
5年 走幅跳	上出 舞華 4.23 TSM	白滝 明彩 3.98 東浦 AC	青木 楓 3.98 JAC武豊
6年 走幅跳	犬飼 七彩 4.50 JAC武豊	伊藤 繪華 4.46 TSM岡崎小学	加藤 汐乃 4.43 JAC武豊
4年 ジャバリックボール級	齋藤 由莉 32.86 トライル AC	山口 栞那 31.92 豊橋陸上	富田 瑠夏 31.30 TSM岡崎小学
5年 ジャバリックボール級	清田 雅妃 44.27 JACあつみ	山本さくら 39.83 TSM岡崎小学	神戸 彩羽 36.38 トライル AC
6年 ジャバリックボール級	田中 舞音 40.29 OBUエニスポ	渡辺 夢奈 38.22 へきなん陸上	碓 菜桜 36.23 トライル AC

男女混合 (ER:県小学生記録 GR:大会記録) (3位までの入賞分)

種目	1位	2位	3位
4年混合 4×100mR	安城 JAC 59.29 田尻 百菜 稲垣 惇平 北出 彩貴 鈴木 蒼大	田原陸上 59.96 山本 依那 塚原 舞空 仲谷 洋人 齋藤 史玖	大須 AC 1.00.88 宮園 未莉 野村 颯汰 岩田 悠乃 柴田 竜希
5年混合 4×100mR	トライル AC 54.37 ER GR 三輪 乃愛 奥田 恭介 松山 璃々 阿野 射己	たかはま陸上 55.20 ER GR 犬塚 玲莉 間瀬 咲良 久田 太一 大久保結月	安城 JAC 56.48 竹本 沙良 岡田 修実 松本 実々 木村 然
6年混合 4×100mR	田原陸上 50.59 塚原 美空 星野 月音 前川 紡 川合 来門	安城 JAC 52.28 松本 萌来 安藤 璃宮 天羽 璃緒 佐藤 伸哉	豊橋陸上 53.44 富田 美妃 清水 柚花 星川 幾哉 古屋 瑛大

- ⑤ 第37回全国小学生陸上競技交流大会出場者について
- ⑥ 各専門委員会より
- ⑦ 各地区陸上競技協会より
- ⑧ 各協力団体より
- ⑨ その他

(水野 隆夫)

栄章

おめでとうございます

令和2年度安藤百福賞は横井隆幸氏(なごや陸上クラブ)が受賞され、11月3日県小学生選手権の場で表彰されました。



(水野 隆夫)

お く や み

長年本県の陸上競技の発展のため、多大なるご尽力をいただきましてありがとうございました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名	逝去年月	地区名
高田 輝男	3・10	尾 張

理事会等会議報告

○8月理事会 令和3年8月10日(火)

1. 協議事項

- ① 第77回国民体育大会愛知県代表選手団(役員・選手)の選考について
- ② その他

2. 報告事項

- ① 第77回国民体育大会代表選手の合宿について
- ② マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2022について
- ③ 第74回全国高等学校陸上競技対校選手権大会の成績について
- ④ 第48回全日本中学校陸上競技選手権大会出場者について

編集後記

◇諸事情の中でのオリンピック開催は、選手や国民に勇気と感動を与えた。関係者には感謝しかない。◇駅伝・マラソンシーズンの始まりに、新たなドラマの予感がする。◇コロナ禍の終息と、今までどおりの競技開催が待ち遠しい。

編集委員

大西 敏功	小坂 拓	鈴木人呂信	竹前 正直
茶谷 和彦	新見 精三	野口 一昭	兵藤 重二
山下ゆかり			